

VI. アンケートからみる研修の成果

1. アンケート結果の概要

(1) 評価アンケート調査結果

アンケートは受講生全員を対象とし、研修成果の確認と今後のカリキュラムの検討・研修運営に役立てることを目的に実施した（76頁／アンケートの雛形）。主に各科目の理解度、研修の進行・運営、設備等に対する評価、研修の評価について、集計結果を取りまとめた。アンケートの回収率は、95%（受講者数128名、回答総数は122名*）。

*研修の一部を欠席した受講者がいるため、回答総数とアンケート各項目の回答者数とは異なる。

(2) 本研修のねらい・内容の理解度

アンケートは、1（理解できなかった）から5（理解できた）までの5段階評価で実施した。

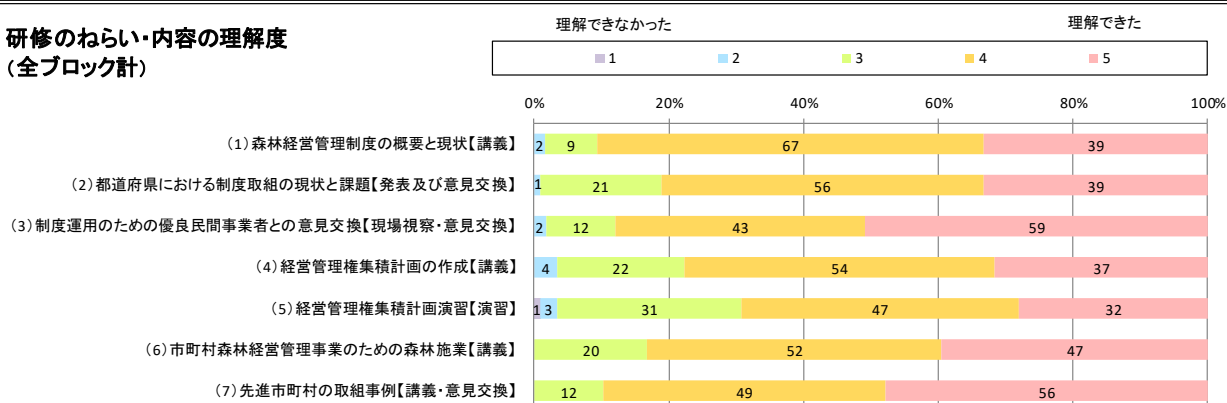
各講義の内容の理解度では4（おおむね理解できた）が最も多く、次いで5（理解できた）の評価で、受講生の理解度は高く、研修のねらいや目的に応じた成果が得られたと考えられる。

各コマの理解度5と4の割合は、69～91%と総じて高い結果となった。

研修のねらい・内容の理解度 （全ブロック計）

	理解度の評価					平均	回答者数	4、5の割合(%)	5の割合(%)
	1	2	3	4	5				
(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】	0	2	9	68	39	4.2	118	91	33
(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】	0	1	21	57	39	4.1	118	81	33
(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】	0	2	12	44	59	4.4	117	88	50
(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】	0	4	23	54	37	4.1	118	77	31
(5) 経営管理権集積計画演習【演習】	1	3	32	47	32	3.9	115	69	28
(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】	0	0	20	52	47	4.2	119	83	39
(7) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】	0	0	12	50	56	4.4	118	90	47

研修のねらい・内容の理解度 （全ブロック計）



「森林経営管理制度の概要と現状」【講義】

初日に実施した「森林経営管理制度の概要と現状」【講義】は、理解度5と4の割合が91%と最も高くなった。「事例と質問に対する回答は参考になった」、「疑問な部分が解決できた」といった制度の不明点が解消されたというコメントと、「復習として有意義だった」、「制度内容の再確認ができた」といった制度について再確認できたというコメントが見られた。このことは、受講生が事前課題として提出した、森林経営管理制度に係る全体的な質問や本制度に係る事務や経営管理権集積計画の記載内容など個別具体の事項についての質問等について、講義の中で回答したことや意見交換も交えながら講義を進めたことが、理解度評価の高さにつながった要因の一つと考えられる。

「都道府県における制度取組の現状と課題」【発表及び意見交換】

初日の2コマ目「都道府県における制度取組の現状と課題」【発表及び意見交換】は、理解度5と4の割合が81%となった。「他の県市町の進捗状況や抱える課題などが分かった」、「他県の取組例や各県の質疑応答が大変参考になった」、「細かい点まで情報収集できて良かった」などのコメントから、市町村を支援するための知見を広げ、応用力を養うという本講義のねらいに沿った講義であったと考えられる。

「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【現場視察・意見交換】

2日目「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【現場視察・意見交換】については、理解度5と4の割合が88%、5の割合については50%と研修の講義の中で最も高い理解度となった。「管内の事業体を育成指導していく中でとても参考となった」、「優良民間事業者の新制度に対する意向も聞いて良かった」などのコメントから、制度に適合する民間事業者のイメージを掴むという講義目的にかなった講義となったことが伺える。また、「一貫施業での工夫、取り組みの経緯・意識を聞いて参考になった」、「作業工程の見直しや再造林の取組等、とても参考になった」などのコメントからは、優良民間事業者の実践事例を聞くことが最前線の現場の取組を知る機会ともなったようだ。

「経営管理権集積計画の作成」【講義】

2日目「経営管理権集積計画の作成」【講義】については、理解度5と4の割合が77%となった。「作成時に疑問に思った記入方法等を理解できた」、「計画作成の留意事項が再認識できた」、「計画作成の実務のヒントになった」という一方で、理解度3、2という低い評価を記した受講生からは「内容は理解できたが、市町村職員が理解できなければ制度を進められないと感じた」、「多くのパターンで試行を繰り返す必要があると感じた」、「難しく、経験が必要と感じた」のコメントが見られた。

「経営管理権集積計画演習」【演習】

2日目「経営管理権集積計画演習」【演習】については、理解度5と4の割合が69%、理解度の平均も3.9と研修の講義の中で最も低い数値となった。コメントには「自身で集積計画を作成し、他の方の演習を見ることで分かったことが多かった」、「各市町の計画が勉強になった」、「実際の作成指導に役立つ」といった記載が見られた。このことは受講生が事前課題を作成し、講義中に発表した模擬的な経営管理権集積計画について対して行った質疑、アドバイスが、受講生が抱える個別の不明事項の解消の一助になったと考えられる。

「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】

3日目「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】については、理解度5と4の割合が83%となった。「森林施業の難しさを再確認した」、「広葉樹の天然更新の難しさを知った」等の

天然更新の難しさを改めて認識したというコメントや、「市町村管理の手法として広葉樹林化に必要な考え、手法を知ることができた」等の市町村自らが経営管理の進め方に言及するコメントも見られた。

「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】

3日目「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】については、理解度5と4の割合が90%、5の割合については47%と高い理解度となった。コメントには、「協議会の設立、下流との連携が参考になった」「林地台帳の登記情報が大切、精度を上げる必要があると感じた」「意向調査実施の際のポイント等を伺って非常に参考になった」等が記載され、受講生が制度を推し進める上での具体的なイメージづくりの参考となったことが伺えた。

(3)全体評価

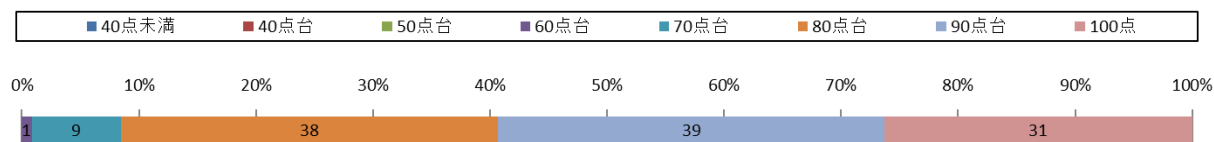
研修全体の評価については、100点満点での評価を実施した。

研修の評価は、平均点が100点満点中89点で、全体の9割が80点台以上をつけ、高評価と見て良いと考える。しかしながら「事前提出物が多く、業務に支障あった」、「他県と課題についてグループディスカッションする時間がもう少しほしい」、「集積計画の演習を拡充してほしい」という意見が寄せられ、カリキュラム内容と各コマの時間配分について検討・調整が必要である。

森林管理円滑化対策研修の評価(100点満点で記載)

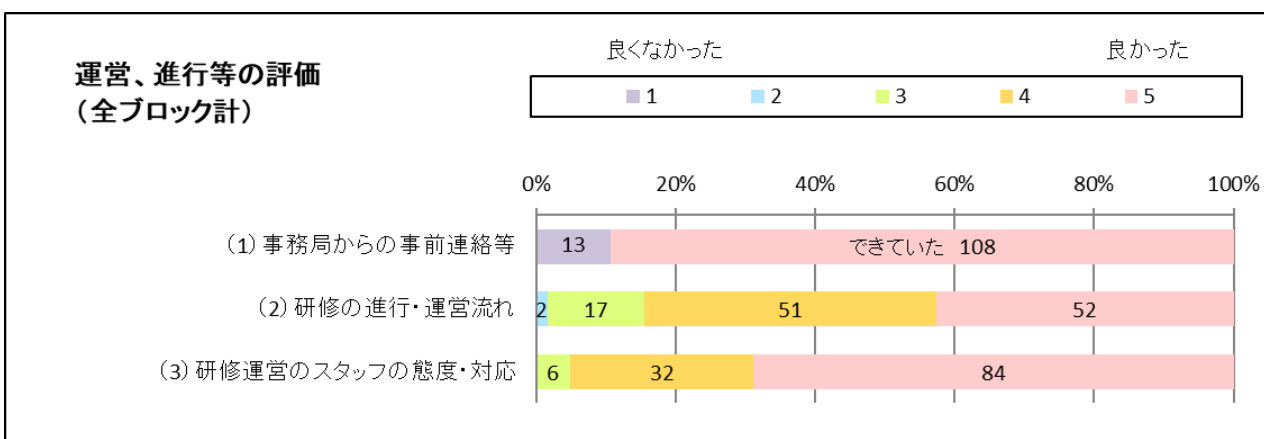
	北海道 東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
40点未満	0	0	0	0	0	0	0
40点台	0	0	0	0	0	0	0
50点台	0	0	0	0	0	0	0
60点台	0	0	1	0	0	0	0
70点台	0	3	1	0	1	3	1
80点台	9	5	7	3	4	4	6
90点台	6	4	7	7	3	5	7
100点	4	3	2	6	4	5	7
各ブロック平均点	88	86	86	93	89	88	90
全ブロックの平均点	89						

森林管理円滑化対策研修の評価



(4) 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

運営、進行等の評価 (全ブロック計)		理解度の評価					平均	回答者数	4、5の割合(%)	5の割合(%)
		1	2	3	4	5				
(1) 事務局からの事前連絡等					13	108	4.9	121	—	—
(2) 研修の進行・運営流れ		0	2	17	51	52	4.3	122	84	43
(3) 研修運営のスタッフの態度・対応		0	0	6	32	84	4.6	122	95	69



研修の事前連絡

研修の事前連絡は、全回を通し、概ねできていたという評価であった。できていないという評価へのコメントは、「現地視察が無くなった旨の連絡が分かりにくかった」、「課題の数をいくつか用意するのか分かりにくいところがあった」等、2日目の現地視察の変更とそれに伴う会場の変更、事前課題に係る事項についての指摘であり、受講生への研修開催の周知方法等を改善していくことが必要である。

進行・運営の流れ

進行・運営の流れについては、5(良かった)と4(おおむね良かった)の評価が全体の84%となった。「運営側からも質問や補足があり、理解の役に立った」、「目的に合った運営となっていた」といったコメントの一方で、「全体的に時間不足。可能なら全ての講義に全県から意見させる時間がほしかった」、「概ね時間通りだったが、人数が多くて時間配分が難しかった」等のコメントが見られ、講義時間と質疑の時間配分についての検討・調整が必要である。

研修運営のスタッフの態度・対応

研修運営のスタッフの態度・対応については、5と4の評価が全体の95%となり、評価が非常に高かった。運営スタッフの丁寧な対応等が評価されたことが受講生のコメントからもうかがえた。

(5) 今後の必要なサポートや研修等について

今後、必要なサポートや研修等への要望については、全ブロックにおいて多くコメントが寄せられた。市町村担当者への研修の強化を望む記載が多く見られた。それ以外の要望等について、研修、講義内容、サポートに分けて次に記載する。

(研修)

- ・意向調査のやり方について特化した研修
- ・市町村の取り組み方や進行段階に応じた、各段階の研修
- ・行政書や法律に関する研修
- ・広葉樹林化、混交林化についての技術研修、事例研究、設計研修
- ・針広混交林化や人工林の広葉樹林と天然林の混交林化に関わる研修
- ・森林初心者（林業資格のない人）が理解しやすい研修
- ・制度の運用に当たって発生した課題や問題点等への対処事例、対処法についての研修
- ・制度運用後の定期的なQ & Aの研修
- ・立木評価に関する研修

(講義内容)

- ・制度の実際の運用方法
- ・制度の事例等のまとめ、内容等の紹介
- ・制度の進捗ごとの各自治体の取組状況の紹介
- ・制度運用でトラブル等があった県市町村の事例紹介
- ・各市町村の課題に対して解決方法等を話し合う等
- ・意欲と能力のある事業者の育成、後進市町への積極性を出してもらう方法
- ・意向調査手法についての講義
- ・意向調査や計画作成の模擬演習をその場で行う模擬演習
- ・意向調査の事例（成功・失敗・工夫すべき点等）
- ・意向調査の回答の利用方法
- ・所有者探索の方法
- ・経営管理権集積計画の実技演習、またはそれに対する指導
- ・現地のモデル地区を利用した例題による経営管理権集積計画の作成
- ・経営管理権集積計画のケーススタディ
- ・経営管理権集積計画の作成以降の手続き等
- ・経営管理権集積計画の作成から事業実施状況等の先進地の事例紹介
- ・森林整備以外の環境税の使い方、各県・各市町の先進事例、報告会等
- ・経営管理集積計画の演習・実地調査
- ・経営管理権集積計画作成以後のプランニングや配分計画に至るまでの演習
- ・集約化の実務を深めた内容の研修
- ・集積後の経営管理実施権の作成方法
- ・経営管理実施権を結んだ後の事務処理
- ・GISを使用した対象森林の絞り込み方の講義
- ・効率的な森林経営に関する技術習得
- ・事業を加速化していく施業の提案

(サポート)

- ・市町村事例の発表会（講演）等
- ・市町村が自ら管理する場合の事例を多く抱える自治体の考え方、体制を紹介する機会
- ・他県や他市町村の事例の情報提供
- ・制度運用で実際に集積～施業まで至った団体の講演
- ・全国の様々な取組事例等の集積及び情報発信（研修受講者へのフォローアップ）
- ・事業が進んでいく中で、良かった・悪かった点等の意見交換ができる場
- ・市町が関わる様々な状況の森林とその対応方法を検討する場
- ・全国的に共通作業となる部分の単価（歩掛）
- ・作成研修を企画する方の立場でのサポート
- ・業務で発生した課題や不明点にその都度対応するサポート体制
- ・簡単なQにも電話やメールで教えてくれる総合的なサポート
- ・森林環境譲与税の使途・判断基準に関する情報共有のためのオンライン会議
- ・森林環境譲与税を使った事業の内容（具体的な仕様書）
- ・各種様式（アンケート・結果等も含む）が盛り込まれた先進の実例集
- ・法律相談
- ・上層部への制度説明の機会

(6)その他、感想(研修の中で特に印象に残った講義)

印象に残った講義として、各ブロックともに実践者が講師となった「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」【現場視察・意見交換】、「先進市町村の取組事例」【講義・意見交換】が多く上げられた。いずれも当事者からの直接の説明が受講生に講義内容を強く印象づけたようだ。また「市町村森林経営管理事業のための森林施業」【講義】についても印象に残った講義として各ブロックで上げられた。

研修全体を通じた感想として、「林野庁からの話は今後の業務を進める上で大変貴重であった」、「国の基本的見解、スタンスを掘り下げて聞く貴重な機会であった」等のコメントや、「他ブロックの事例、情報も可能な範囲で提供いただきたい」等のコメントが見られた。

Ⅶ. 研修の実施における課題と改善点

1. カリキュラムの実施方法

ア 「制度運用のための優良民間事業者との意見交換」について

2日目の1コマ目に実施された本研修項目は、優良民間事業者の活動や取組について、説明を受けるとともに、現場視察を行った上で、質疑や意見交換を通じて優れた民間事業者の特徴を整理するというものである。

この研修内容の現場視察については、視察現場が研修会場から遠方とならざるを得ない場合があり、①移動時間が長くなること、②他の研修の研修時間に影響を与えることとなったことから、現場視察をやめて研修会場での民間事業者からの説明の中で現場の状況について説明を行うこととしたケースが7ブロックのうち3ブロック（北海道・東北、四国、九州）あったが、研修生から現場視察が必要であるとの指摘はなく、民間事業者からの写真やビデオや使った説明により、現場の状況についても理解を得られ、全く問題はなかった。

現場視察の実施については以下のような課題が考えられた。

①現場における民間事業者の特徴は現場に行かなければ分からないものではなく、写真やビデオを使うことで十分伝えることが可能であること

②当該民間事業者の特徴が必ずしも現場に現れているとも限らないこと

③限られた研修時間（15時間程度）の中で移動に2～3時間を使うことは、研修全体の研修効果に影響を与える可能性があること（移動のためのバスの中で有効な研修を行うことは困難）

④移動が長時間となる場合はその後の研修の研修時間に影響を与える場合があること

⑤移動時間が長くなることにより他の研修項目の時間調整を行うなどの対応が必要となり、研修内容にブロック間の差を生じさせる可能性があること

また、以下のような研修生のコメントがみられる。

・現場へ行く時間少しもったいない気がした。写真や動画で対応できたらもっと話す時間が増やせる。（関東）

このため、基本的に本研修項目については現場視察は行わず、現場情報を提供する必要がある場合には、写真やビデオによって講師である民間事業者より説明を行ってもらうことが適切と考えられる。

イ 「経営管理権集積計画演習」について

2日目の3コマ目に実施された本研修項目は、予め課題として作成し提出した模擬的な経営管理権集積計画について、作成するにあたって生じた疑問点や課題なども含めて研修生が発表を行った後、これに対する質疑や意見交換を行うものである。

この研修内容の模擬的な経営管理権集積計画についての発表については、研修生のうち実際に当該計画を作成する市町村所属の研修生、計画作成に関する周辺業務を受託する可能性のある森林組合や団体所属の研修生を中心に、可能な限り多くの研修生から課題の発表を行ってもらえる

ように進行を行ってきたところであり、場合によってはこのような対応に加え、予め課題として提出してもらった質問に対して林野庁が回答を行うこともあった。

しかしながら、研修生の発表の中には、発表時間が短時間で説明内容も乏しいというものがみられ、他の研修生からの質問も意見交換もないというものが散見された。このような状況は、研修生が経営管理権集積計画の作成方法を十分に理解していないため、作成した計画の内容について十分な説明ができないのではないかと考えられた。

このことについては、以下のような研修生のコメントがみられる。

- ・「勉強していない人の発表が多く、林野庁との質疑を増やした方がいい。」（北海道・東北）

手引きなどを十分読み込んで対応した研修生については説明内容も充実した発表が行われており、そのためそのような研修生にとっては手引きなどの読み込みの足りない（勉強していない）研修生の発表は研修に有効ではなく、林野庁との質疑に替えた方がいいとの意見であったと想定できる。

研修生の多くは事前課題として経営管理権集積計画の作成を体験したことで、経営管理権集積計画がどのようなものであるかを理解（理解の濃淡には違いがあると思われるが）したと思われ、またそのように評価している研修生が多いが、日常業務の中での事前課題の作成であり、十分な時間が確保できず、その結果十分な理解をしなないままでの課題対応となった研修生もいたと思われる。

このため、研修の中で事前課題（模擬的な森林経営管理権集積計画）の発表は一部の研修生に留め、その後、復習という意味合いで同じ条件の下で経営管理権集積計画を作成するという演習を行うことも効果的かと思われる。このことに関しては、以下のような研修生のコメントがみられる。

- ・研修生発表ではなく、その場で各自計画書を作成してみる演習にしてほしかった。（北海道・東北）
- ・複数県でグループを作って、1，2課題を検討して発表というやり方がいいのでは？（関東）
- ・演習であるなら、実際にモデル的に同じ場所を研修生同士で作成してみても良いのではないかと思った。（四国）

森林管理円滑化対策研修・参考資料

平成31年度 市町村支援技術者養成事業委託事業
森林管理円滑化対策研修 評価アンケート調査票(●●ブロック)

今後の研修を効果的に実施するための参考資料としますので、率直なご意見・ご要望等をご記入下さい。
ボールペン等で濃くご記入くださいますようお願いいたします。

所属組織名: _____ 氏名: _____ 受講生No: _____

1 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？
 該当欄の数字に○を付け、理由等を【コメント】欄にご記入下さい。

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】(1日目午後)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】(1日目午後)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】(2日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】(2日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(5) 経営管理権集積計画演習【演習】(2日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】(3日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

※裏面に続きます。

(7) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】(3日目)

できなかった					できた
1	2	3	4	5	

【コメント】

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

該当欄の数字に○を付け、理由等をコメント欄にご記入下さい。

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

できていた	できていない
1	2

※「2」できていないとしたのは何故ですか。理由をご記入下さい。

【コメント】

(2) 研修の進行・運営の流れについて

良くなかった					良かった
1	2	3	4	5	

【コメント】

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

良くなかった					良かった
1	2	3	4	5	

【コメント】

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

【コメント】

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

【コメント】

III 森林管理円滑化対策研修の評価

(1) 森林管理円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

(成果や達成感ではなく、研修の内容等全体を客観的に評価して下さい。)

【ブロック研修】

【減点した理由等】

____ / 100 点

ご協力ありがとうございました。

1日目のふりかえりシート

所属組織名:

氏名:

受講生No.:

<p>講義や演習で学んだことのポイントや キーワード、印象に残った講師や 他の受講者の言葉</p>	
<p>研修後、職場(現場)でさっそく調べたいこと、 確認したいこと・取り組みたいこと</p>	
<p>自分の知見を高めるために、もっと詳しく 知りたい・学びたいこと。 難しかったこと・わからなかったこと</p>	

2日目のふりかえりシート

所属組織名:

氏名:

受講生No.:

<p>講義や演習で学んだことのポイントや キーワード、印象に残った講師や 他の受講者の言葉</p>	
<p>研修後、職場(現場)でさっそく調べたいこと、 確認したいこと・取り組みたいこと</p>	
<p>自分の知見を高めるために、もっと詳しく 知りたい・学びたいこと。 難しかったこと・わからなかったこと</p>	

令和元年度 森林管理円滑化対策研修
最終日のふりかえりシート

所属組織名: _____ 氏名: _____ 受講生No.: _____

1. 3日間の研修を終えて、新たに獲得したこと、得た知識・情報、ポイント等

2. 3日間の研修を終えて、新たに見えてきた課題等

各ブロックの評価アンケート調査票

「Ⅰ 本研修のねらい・内容（各講義についての理解度）」のアンケートは、1（理解できなかった）から5（理解できた）までの5段階評価で実施した。「Ⅱ 研修の進行・運営、研修設備等についての評価」は、1（良くなかった）から5（良かった）までの5段階評価で実施した。資料では、評価点数ごとのコメントを集めて掲載した。

■北海道・東北ブロック

Ⅰ 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】

2点

- ・業務で直接担当していないため、専門用語の言葉が難しかった

3点

- ・再確認できて為になった

4点

- ・質問ではないことにも丁寧にご回答いただき有難い
- ・他都府県の事例を学びたい
- ・丁寧な説明で制度の概要について理解できた
- ・各地域での事例が参考になった
- ・制度の概要について理解できた
- ・これまでも説明を受けていたため、復習として有意義だった
- ・以前から疑問に思っていた点を具体的に答えていただけてとても良かった
- ・制度概要のポイント説明により再認識できた
- ・市町村の取組事例があって良かった
- ・制度について分かりやすく説明をいただけた

5点

- ・事前質問に対する回答について詳しく説明がほしかった
- ・他県市町村の事例紹介は有難いが、詳細版も提示してほしかった
- ・分かりやすい説明で良かった
- ・これまでに林野庁研修等で学習した内容通り理解できた

(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】

2点

- ・道県のため、参加なし、話しの内容は理解できている

3点

- ・各道県の発表を聞いて様々な取り組みをし対策を講じており参考になった。また、課長については同じようなことを思っていた
- ・取り組んでいる課題に違いを感じられた

- ・他県の情報を得られて参考になった

4点

- ・県主導で色々と進めていることが分かったので参考にしたい
- ・各県の取り組みについて詳しいことが良く分かり、とてもためになった
- ・各県では色々な取り組みが行われていることが分かり参考になった
- ・他道県の取組内容が色々と聞けて有意義だった
- ・質疑応答の時間がもう少しあった方が良かった
- ・他の道県ではサポートセンター等、市町村の支援体制が進んでいて参考になった
- ・現時点における担当管内の市町村の立ち位置が観客視でき有意義
- ・各道県の現状を生で聞けてよかった。本県は遅れていると実感
- ・実のある内容にしようという運営側の姿勢が伝わった
- ・他県の状況が良く分かり、課題の共通点が多いと感じた

5点

- ・北海道も含め、他県（〇市〇町〇村）等、市町村数、振興局数が資料で分かれば、数的な把握ができる
- ・質問の回答集は帰庁次第、地元で共有したい
- ・道県の取組内容で参考になるものが多くあり、有意義であった
- ・受講者からの生の説明・補足等は有意義であった
- ・細かい点まで情報収集できて良かった

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】

4点

- ・経営的には厳しい意見があったと思う
- ・内容が分かりやすく、森林整備に対する思いが伝わり、有意義であった
- ・優良な事業体は人を中心とした体制と理念がしっかりしていると思った。今後、管内の事業体を育成指導していく中でとても参考となった
- ・岩手の確保がうまくいっている
- ・企業理念がしっかりとした事業体だったので感心した
- ・事業者の制度への参入の考えを知れて良かった
- ・優良民間事業者の特徴が掴めた

5点

- ・まさに地域のニーズに応える事業体
- ・社長と常務の「人は宝」という考えが心に響いた
- ・大変良い事業体の話を聞いて良かった。北日本索道（株）のような会社がたくさんあると日本の山も良くなると思った
- ・会社の理念通り進められており、このような会社こそ意欲と能力のある会社にふさわしい
- ・地域林業のニーズに合わせた経営感覚が素晴らしいと思った
- ・相当にありのまま語ってもらい、大変有意義だった
- ・適切な事業体を選定していただき参考になった。個人的には生産管理手法について興味があった
- ・経営者の姿勢が大切と再認識した

- ・優良民間事業者の新制度に対する意向も聞いて良かった
- ・企業の先導的取組に感銘した
- ・企業理念と風通し、一体感＝利益よりも大事なもの

(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】

3点

- ・「経営管理によって発生する金銭の会計処理」が難しかった。時間をかけて理解する必要がある
- ・何となく理解できたような気はするが、もう少し勉強する必要がある
- ・作成方法の概要について理解できた
- ・再委託の入札に参加するのはほぼ森林組合だけと考えられ、森林組合も従来の業務で精一杯であり、そのような地域性も考慮してほしかった
- ・手間がとてらかかるということを認識し、市町村議員の支援の重要性を痛感した
- ・林野庁の方の回答が以前聞いた他の林野庁の方（三間氏）の話と若干違うと思った。まだ意向調査までもいっていないので、後半の講義が難しかった

4点

- ・アウトラインは良く分かった
- ・集積計画作成の一連の流れとポイントを詳しく説明いただきほぼ理解できた
- ・これまでの研修等で受けた説明の復習となった
- ・従前の計画の作成内容をさらに深掘りして確認できたので良かった
- ・概況について概ね理解した。演習と併せることでより理解が促進されると思われる
- ・譲与税の使途に係わるくだりは参考になった
- ・分かりやすく説明をいただけた
- ・軽微な変更の対応

5点

- ・意向調査票の内容を再度見直したい
- ・疑問に思っていた項目も詳しく説明いただき理解できた
- ・理解できた
- ・事前学習の理解と一致

(5) 経営管理権集積計画演習【演習】

3点

- ・何となく理解できたような気はするが、もう少し勉強する必要がある
- ・再委託の入札に参加するのはほぼ森林組合だけと考えられ、森林組合も従来の業務で精一杯であり、そのような地域性も考慮してほしかった
- ・大して勉強していない人の発表が多く、これなら林野庁との質疑をもっと増やした方が良かった
- ・図面の作成誤り
- ・個人発表ではなく、その場で各自計画書を作成してみる演習にしてほしかった
- ・作成し、他の方の演習を見ることで分かったことが多かった。林野庁の回答が以前聞いた他の林野庁の方（三間氏）の話と若干違うと思った（事業体から市町へ、市町から所有者への受益権のところ）

4点

- ・各県各者様々な考え方で作成しており参考になった
- ・各道県の色々な集積計画を聞いてその仕組みが分かり始めた
- ・各種パターンの事例発表が参考になった
- ・研修参加者の作成の考え方を聞くことができ、今後の計画書作成の参考となった
- ・事例作成による演習で雛形を確認し、概ね理解はできた。いずれ事業体や所有者との状況確認を必要と感じた
- ・色々な考え方で地域性の高い計画を皆さんに立てておられ勉強になった
- ・法律上の定めがないグレーゾーンの部分を指導する難しさを感じた

5点

- ・質問等に参考になるものがたくさんあって良かった。林野庁から気になった課題の代表的なコメントがあると良かった
- ・具体的な演習において発表させていただき、また皆様の内容を聞かせていただき実際の作成指導に役立つ
- ・他の方の作成した計画と考え方が共有できて身になった
- ・手間がとてかかるということ認識し、市町村議員の支援の重要性を痛感した
- ・現実のもので説明したが、概ね受け入れられたと思う

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

- ・制度の中で考えると現実的な内容ではなかった。しかしながら、多様性の考えなど将来に向けた施業としては良かった
- ・広葉樹林化は難しいと分かった

4点

- ・分かりやすかった
- ・仕方ないと思うが、学者的説明であった
- ・分かりやすい説明で天然更新に対するこれまで以上の知識を得ることができた
- ・天然更新可能な箇所を明確にする必要性を感じた
- ・広葉樹施業の難しさを実感した。その一方で再生林の低下による放置林の広葉樹化があり、こうした林の管理をどうするか今後大きな問題になると思った
- ・広葉樹林化はとても難しいことを再認識した
- ・「針広混交林化」はそもそも簡単に書けることではないのでは？
- ・市町村を指導する上で参考としたい

5点

- ・とても分かりやすい講義。N-L化は安易には考えてはいけないことが分かった
- ・天然更新の理解が進んだ。ササ処理を考慮に入れて考えたい
- ・とても分かりやすく早速実行できそうなことがたくさんあった
- ・分かりやすい講義で広葉樹更新の難しさを学んだ
- ・針広混交林化について様々な知見を得ることができ、非常に有意義であった
- ・目標林型への誘導方法を理論的に教えていただいた

- ・スパンの長い広葉樹施業の難しさ、情報継承の重要性を理解できた
- ・大変勉強になった。もっと聞きたかった

(7)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

1点

- ・講師として参加のため

3点

- ・積極的な制度活用のため、公社まで設立し、推進していることが参考となった
- ・積極的な展開が印象的であった。ネガティブリストはいらぬということも分かった

4点

- ・とても良い話が聞けた
- ・簡単に真似できないと思った
- ・実務面で今後業務を進めるのにとっても役に立った
- ・最後は人材によるものということを理解できた。優良事例として水平展開できることを期待したい

- ・すごいとは思ったが、我が管内でここまでスペシャルな人はいない
- ・市町村指導に生かしていきたい

5点

- ・やる気のある担当者による明確なビジョンと行動力が良かった
- ・参考になった。当地区では難しいかもしれないが、頭に置いて指導したいと思う
- ・どのように進めていけばいいのかのイメージが沸いてきた
- ・杉山主査のバイタリティーに感服した。大館市の首長の理解ある行動も素晴らしい
- ・大変有意義な講義で参考になった
- ・大変参考になった。市町村幹部の意識が重要。どのようにしむけるか。
- ・一般市民全体を対象にした座談会開催の発想は驚いた
- ・制度取組への熱意が伝わってきて非常に良かった

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

1. できていた

- ・現地視察が無くなった連絡は受けていない

2. できていない

- ・初日の秋田駅前の集合場所が最初良く分からず、迷って右往左往してしまった
- ・これはあくまでも印象だが、地元（ブロック）の事務局の配慮が足りないような気がする。やつつけ仕事のように感じた。（たとえば、連絡が無いところはどこなのか、メールが届いているのかの連絡状況等の確認）
- ・現地視察が無くなったことをその他の事務連絡メールの中に埋没させていただいたので気付かない

(2)研修の進行・運営流れについて

3点

- ・カリキュラムの時間がずれてばかりだった

4点

- ・各道県への質問・意見等を順に聞くならば、順番にではなく、各道県に対する質問・意見を聞くようにしていただきたい

- ・初回の「各県への質問コーナー」以外は良かった

- ・不慣れな受講生に発表させるより、講師が代表的な事例を選び説明した方が良かったのではない

- ・司会の方の進行がスムーズで良かった

- ・受講者の疑問に答える臨機応変な進め方が良かった

- ・集積計画演習に時間を使いたかった

- ・問題なし

- ・スムーズな進行有難かった

5点

- ・大変良かった

- ・進行がスムーズで、また受講者からの質問と回答をうまく整理され素晴らしかった

- ・要所要所で進行を総括していただいた中山氏の進行管理が良かった

- ・研修を意味のあるものにしようという姿勢が伝わってきた

- ・ファシリテーターの熱い想いが伝わってきた

- ・親切・丁寧な対応に感謝する

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

3点

- ・少し堅苦しい感じがした

4点

- ・色々とお気遣いいただき有難かった

- ・ありがとうございました

- ・丁寧な対応が有難かった

5点

- ・お世話になった。ありがとうございます

- ・大変良かった

- ・丁寧にサポートしていただき過ぎやすかった

- ・お疲れ様でした

- ・良い意味で普通

- ・皆さん丁寧に対応いただけた

- ・気を使っていた

- ・ノーストレス

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・譲与税の使い方に関する研修

- ・譲与税の使い方、何がダメで何がOKか、林野庁・総務省等、質問に答えられる分野の担当者の

講師がいればありがたい

- ・本研修を市町村担当者を対象に開催
- ・市町村担当者の研修を強化してほしい
- ・市町村事例の発表会（講演）等
- ・市町村職員を対象として集積（配分）計画を作成する実務研修
- ・取り組みが進行している市町村の具体的事例を地元の市町村担当者に紹介できる機会があれば参考になると感じた。特に今後、市町村が自ら管理する場合の事例を多く抱える自治体の考え方、体制を紹介する機会がほしい
- ・意向調査のやり方について特化した研修
- ・この研修の内容で良い
- ・このような研修機会（量・回数）自体を増やしてほしい
- ・全国の様々な取組事例等の集積及び情報発信（研修受講者へのフォローアップ）
- ・効率的な森林経営に関する技術
- ・意欲と能力のある事業体の育成、後進市町への積極性を出してもらう方法を教えてほしい。東北の東部・西部で分けて再度行っても良いと思う。

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。（研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。）

- ・全ての講義が良かった。自分の理解をさらに深めていきたいと思う
- ・良い研修だった
- ・優良事業体についてが印象的であった
- ・北日本索道（株）の兼子社長のお人柄が良く、仙道常務の思考に感銘し、説明が分かりやすかった
- ・北日本索道（株）の社長、常務の森林林業に対する想いが印象的であった
- ・市町村森林経営管理事業のための森林施業（佐藤保領域長）の講義が大変分かりやすかった
- ・先進市町村の取組事例
- ・各県の考えが違って参考になった
- ・林野庁の方に直接お伺いできる機会が多かった点が良かった
- ・国の基本的見解、スタンスを掘り下げて聞く貴重な機会であった
- ・当ブロックの開催時期は暑くもなく寒くもなく良かった。講師も良かった
- ・事前課題で集積計画を作り、研修会で発表した方が研修会でポイント等を聞きながら皆で作成していく方法の方が良かったと思う
- ・事前課題が重かった
- ・他ブロックでの意見、質疑等も共有してほしい
- ・当研修資料をPDFで良いので、メール等で送付いただきたい
- ・宿泊施設を限定する研修はやめていただきたい

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

(1) 森林管理円滑化対策研修を 100 点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

80 点

- ・グループディスカッションがあっても良かった。受講生発表時間が長いと感じた
- ・大変勉強になった。減点理由は、事前課題で集積計画を作り、研修会で発表した方が研修会でポイント等を聞きながら皆で作成していく方法の方が良かったと思う
- ・事前提出物が多かった。業務に支障あり。ふりかえりシートを無くしてほしい
- ・現地研修をやった方が良かった
- ・演習についてもう少し時間をとってほしい
- ・ホテルが相部屋だったこと（風邪をひいていたので相手の方に迷惑をかけてしまった）
- ・計画作成演習がやや散漫だった。他県の人から学ぶものが少なかった。各県1人は県庁担当がきてほしかった
- ・林野庁の講義資料に新しい情報が少なかった
- ・もう少し細かな部分まで入った研修でも良かった

90 点

- ・研修生を何班かに分け（各道県をバラバラに編成）、グループ討議等をやっても良いと思った
- ・制度が進行中であり、まだ見解がでていないところ多数あるということを理解できた
- ・地元の事務局の対応が今一つだった
- ・事前課題のウェイトが重く、対応が大変だった
- ・研修生同士のディスカッション機会が少なかった
- ・資料2-2-2、2-2-3ができなかった。前の研修でもここまでいかなかった

100 点

- ・研修開催地の設定変更を早く周知してほしい
- ・当初予定にはなかった「税」の講義を入れる等工夫があったため

■関東ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】

3 点

- ・質問の答えになっていないものもあると感じた

4 点

- ・既存制度を残しつつ、新たな制度を取り入れることで少しでも山を整備していきたいという自主認識ができた
- ・林野庁から制度の説明・事前の質問への回答等ていねいにお話いただいた
- ・林野から直接話を聞ける機会として貴重
- ・制度内容の再認識ができた

5 点

- ・最新の取組状況の紹介もあり参考になった
- ・質問に対する回答が早すぎて書ききれませんでした。文書になるとありがたい
- ・制度の基本的な考え方について改めて考えた
- ・説明会のときよりもざっくばらんに踏み込んだ話が聞けた

- ・これまでの経営計画や支援補助等で補助できる部分で補えなかった森林を「誰か」に手を入れてもらうという管理制度の本質を知ることができた

(2)都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】

3点

- ・他県の取組を聞くことは参考になった
- ・他県の状況が参考になった

4点

- ・考え方は県によって様々ではあるが、市町村に事業を推進させるために苦慮されていることが分かった
- ・各県の状況の説明、質疑応答に時間を多くとり様々な話を聞くことができた
- ・他県の状況を聞くと管理制度に対して慎重になっていることが多いように感じた
- ・他県の状況を質問することもでき、とても有意義。

5点

- ・各県の取組状況について参考になったまた市町の協議会方式について有効な方法であることを再認識できた
- ・各県市町村の進捗状況が抱える課題などが分かった
- ・他県の状況について参考になった

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】

3点

- ・(現場) 状況の違う林分を比較できたことが良かった
(事業体) 事業体の立場での経営管理制度への期待を知ることが出来た
- ・現場で何か優良なのか理解できなかった
- ・現場へ行く時間少しもったいない気がした写真や動画で対応できたらもっと話す時間が増やせる。

4点

- ・本制度の肝となるべき担い手について事業者側の意見を聞くことができ参考になった
- ・数値で意欲と能力が見えた
- ・できればフォレスト萩原さんの現地も見かけた
- ・事業者の生の声を聞くことができ、管理制度の展望等あり良かった
- ・事業体は何を考えどういう事業体になりたいのかを聞いた
- ・事業体の考える「意欲」と「能力」が聞けて参考になった

5点

- ・再委託各の事業体の条件について理解できた
- ・集約の方法について参考になった
- ・「所有者と行政に信頼してもらおう」この信頼関係を築くというこの重要性を強く感じた。管理制度に対して期待しているとの声があったのは制度を運用していくうえで気合が入った

(4)経営管理権集積計画の作成【講義】

3点

- ・市町村の責めに期すべき内容については留意が必要
- ・市町村が負うリスク管理についてはていねいな説明があり参考となったが、実際の業務では悩む面が生じることが懸念される

4点

- ・計画作成の理解が深まった
- ・リスク管理の部分は難しく、再度勉強したい
- ・事前課題に合わせて計画作成のチェックポイント等を押さえられた
- ・集約ではなく集積という所、認識違いをしていた。流れに沿いながら議論でもよかった
- ・森林保険の記載については多くの方が検討事項としていることが分かった

5点

- ・制度の根幹は誰かが一定期間その森林を管理することということが理解できた
- ・他県も森林保険について悩んでいることが分かった。所有者に保険料の負担をさせることのメリット、デメリットを考え、今後の活動に生かしたい

(5) 経営管理権集積計画演習【演習】

3点

- ・複数県でグループを作って、1, 2課題を検討して発表というやり方の方が良かったのでは？
- ・もっと時間をかけて実施してほしかった
- ・実際に集積計画とする予定のものを発表してくれた市町村の事例はリアルで有り、大変参考になった

4点

- ・森林保険の取り扱い等参考になった
- ・各市町村の考え方の違いが理解できた
- ・基本的事項等の記載方法について参考になる意見が多かった

5点

- ・各自治体の考え方が聞けて参考になった
- ・内容について各地の状況に応じて変更している点について参考になった
- ・市町村の実例（これから計画設定予定のものなど）を説明していただけた

(6) 市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

- ・今後、施行していく上でより深い知識が必要だと感じた
- ・制度で見直される手遅れ林分における間伐（天然林化、複層林化）の具体的な作業に特化して話していただけると良かったか
- ・施業方法、選択しづらい

4点

- ・森林施業の難しさを再認識した
- ・具体的に広葉樹を導入した事例がほしい
- ・広葉樹林化は難しい／針広混交林に転換する厳しさ
- ・市町村の事業として複層林施業の注意点など専門的な話をいただけた

・フォレスターのテキストで見たが、先生に話を聞き、改めて難しさを身にしみて感じた。時間が短くて非常にもったいない講義だった

・天然更新のハードルが高いことが分かった

5点

・広葉樹が難しいことの再認識

・広葉樹の天然更新の難しさを知った

・本県も針広混交林化をうたった事業が多いが、天然林、混交林化にも理論があり、安易にできるものではないのが分かった

・知識の整理ができた。新しい知見も得られた

(7)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

4点

・体制・計画性・取組状況おそれいます。こういった組織のなかで学べればすぐ現場に生かせるだろうと感じた

・取組すばらしいと思った

・今後の業務に大変参考になる。

5点

・秩父市の取組はとても参考になった。特に協議会を作るなどの取組が必要。下流との連携も必要であることが参考になった

・先進事例を参考に、本市にも取り入れる部分は取り入れたい

・林業振興の取り組みが参考になった

・事例の内容は事前に知っていたところではあるが、実際に担当者から話を聞いて良かった

・すでに参考にさせていただいているが、新しい情報もあり参考になりそう。

・H30年度からの動きを詳しく知ることができた。今後の構想のために、より深く大澤技監と話をしようと思った

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

2. できていない

・課題について県で1つのものと複数いるものとの差が分かりにくかった。2日目の日程変更について1日目欠席者に連絡してほしい

(2)研修の進行・運営流れについて

3点

・初回ということも有り、探り探りな部分もあったかと思うが、我々が気になっている部分を解決していただけて良かった

・もっとぎっくばらんな意見交換ができると良いかもしれない

4点

・ヘルメットは事務局で用意してもらいたい

・全体としてとても良かったが、受講生の意見交換ができる場面をもう少し増やすと良いと思った

5点

- ・進行で質問等がない時に質問をしていただきありがとうございました。議論が終わらずさらなる話が聞けて良かった
- ・基礎の部分を研修したい自分にとっては説明が早く感じた。応用を求めるレベルの人は問題ないと思うが。
- ・3日間勉強になった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

5点

- ・資料を整理しやすいよう配慮されている。
- ・スムーズに研修を受けられた
- ・不安に感じていた部分を補ってくれた
- ・研修の円滑な実施に尽力されていると感じられた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・市の上層部の人に事業体と係る手間や負担についてご説明いただきたい
- ・法施行されたばかりであるので、事業推進にあたり、多くの課題が出てくると思われるので、来年度も事例や意見交換の場を作ってほしい
- ・業務で発生した課題や不明点に都度回答をいただけるサポート体制
- ・研修を企画する方の立場でのサポートがあると助かる
- ・先進事例の情報交換
- ・森林経営管理制度の運用方法について（取組→運用へ）
- ・今後進んでいく中で良かった点、悪かった点等の事例を話し合うような研修
- ・新しい制度説明は県向けではやっているようだが、市町村向けにもお願いしたい。これから事例も増えていくと思うが市町村が具体的にどのようなことをしていけば良いのか
- ・全国の事例紹介
- ・全国的に共通作業となる部分の単価（歩掛）作成

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。（研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。）

- ・短期間の研修を計画してほしい。長いと参加しにくい
- ・法律や手引き等だけを見ていると強制的な強い法律のような気がしていた。研修を通して、目的が何なのかも分かり、固まったものでないことも分かった
- ・民法の追加説明があり良かった
- ・民法の説明が分かりやすく参考になった
- ・林野庁からの話は今後業務を進める上で大変貴重だった。萩原氏の話も参考になった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

(1) 森林管理円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

70点

- ・手探りの中での研修で大変だったと思う。他県との課題等についてのグループディスカッションがもう少しできると良かった

80点

- ・現場見学で目的を達していない
- ・現地実習での説明が早い
- ・事前課題や当日発表の進め方についてももう少し詳しく説明を事前に確認したかった
- ・講義の内容等はよく分かって良い研修だった。ただ課題を全員やってくるのはいかなものか
- ・事前課題についてはみんながやる必要はなかったと感じた。各県で協同して2事例程が良いのではないか

90点

- ・タイムスケジュール管理に甘いところがあった
- ・もう少し時間があっても良いと感じた

100点

- ・民法も追加で資料いただきありがとうございました

■中部ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】

3点

- ・質問への回答についてももう少し時間がほしかった
- ・制度と目的については理解できた

4点

- ・研修資料としてはこれまで通り理解できた
- ・他県の市町村の取り組みを把握することができた
- ・概要と現状が理解でき参考となった
- ・制度の概要・取り組みの先進事例を知り、理解が深まった
- ・まだ始まったばかりの制度で、理解が十分でない部分も多かったのですが、講義を受けて基本的な部分の理解を深めることができた
- ・制度の概要が理解できた
- ・制度の流れの再確認や事例を知ることができとても良かった
- ・質問への回答は時間をかけて説明し、Q&Aにまとめてほしい
- ・職員が少ないまま、制度はできたけどなかなか進まない現状だと感じた

5点

- ・全国の事例が増えてきており大変参考になる
- ・意向調査が全国で進んできているので当県も努力したい
- ・内容がわかりやすい
- ・本制度は既存制度への追加という点を再認識した
- ・先進事例を知ることができた

- ・制度の概要を復習することができた

(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】

3点

- ・本市の取り組みと似ている事例が多々あり、参考になった
- ・全体的に時間不足

4点

- ・同じ悩みの県の方と情報共有できた
- ・もう少し質問の時間をかけていただき、他県の取り組みを把握したい
- ・他県の取組状況が理解できた
- ・質問内容が多いので時間設定を増やした方が良かった
- ・どの都道府県等も新しい制度に対し、色々と考えながら取り組まれていることを知ることができて良かった
- ・各県の現状が理解でき、問題点が良く分かった
- ・各県の取り組みや課題を知ることができてとても良かった
- ・各県の取り組みが分かった。その中で森林組合の役割があることに對し、今後当組合の対応の参考になった

5点

- ・皆さん森林整備を少しでも進めたいという意欲を感じるとともにどこの都道府県（市町村）もそれぞれに悩みがあり、大変さを感じた
- ・他県の取組状況は参考になった
- ・長期的視点で構想を立てるために準備している市町が多いと感じた
- ・他県の取り組みを知ることができた
- ・各県における取り組みについて知見を深めることができた
- ・各県の取り組みや課題等、生の声を聞くことができた

(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】

2点

- ・専門用語が多く、難しかった

3点

- ・制度運用の参考になる現場視察であったが、疑問と思う。森林組合の取組自体は素晴らしかった
- ・木材センターの現地において、仕分検知や品質判断技術を現場で具体的に聞いたかった

4点

- ・郡上森林組合の事例は管内の事業者の模範となる
- ・組合の前向きな取り組みが参考になった
- ・当市内に森林組合も事業者も無いため、より良い制度運用ができる郡上市が羨ましく思う
- ・組合員ファーストで森づくりに對し、しっかりとした構想を持って取り組まれていることを感じた
- ・郡上森林組合の考え方や取り組みを知ることができたのでとても良かった
- ・組織の考え方、施業方法が分かって良かった

5点

- ・川上～川下の連携が図られていた。優良事業者ということが確信（確認）できた
- ・組合が向上しようとする姿が良く分かった
- ・郡上市で活動している森林組合での実状の説明を受け参考となった
- ・5万m³瀬山稜、8m³／人・日の生産性はすごい
- ・郡上森林組合の取り組みについて知ることができた

(4)経営管理権集積計画の作成【講義】

3点

- ・内容は理解できた。市町村職員が理解できなければ制度を進められない
- ・「手引き」により講義をしてほしい

4点

- ・研修資料の中で不明な点がある程度理解できた
- ・細かい点でもう少し詳しく聞いてみたい所があった
- ・経営管理権集積計画作成の基本的な流れが理解できた
- ・ポイントを押さえた講義となっており分かりやすかった
- ・具体的な作成手順について学ぶことができた
- ・制度の流れを再確認することができたので良かった
- ・考え方は分かった

5点

- ・初めての集積計画を作成でき、具体的な実習であった
- ・具体的なケースを想定しながら聞くことで理解が深まった
- ・実際に集積計画を作ることで理解を深めた
- ・勘違いしていた部分もあったことに気付いた
- ・これから集積計画を作成していくため、とても参考となった

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

3点

- ・各市町村、色々な計画のパターンがあり、勉強になった
- ・「事務の手引き」を良く理解する必要がある
- ・他の受講生の発表を聞き、より理解が深まった
- ・山林所有者、データ確認が必要
- ・集積計画の作成例を理由も含めて入手することができた

4点

- ・実際に策定した計画での実践であり、為になった
- ・初めての集積計画を作成でき、具体的な実習であった
- ・他市の状況が様々なことが良く分かった
- ・既に実施しているところの話聞いたが、実際に計画するには相当の労力がかかることが分かった。最初はやりやすいところから行う
- ・再委託しない場合の事例もあると気付けた

- ・今回初めて集積計画を作った方が多いと思われるが、皆さんが試行錯誤しながら作られており大変勉強になった
- ・色々な事例について学ぶことができた
- ・各県（市）の考えを知ることができ、正解がない中で、苦勞したことにより実務を経験できたのでとても良かった
- ・実際に集積計画を作成してみると様々な疑問点が生じた

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

- ・現在の森林の現状を学ぶことができた
- ・教科書通り、現実的な質問があり、ためになった

4点

- ・広葉樹施業の難しさが実感できた
- ・もう少し長く説明していただき細かい点まで知りたかった
- ・天然更新の不確実性について理解したが、市が具体的にどのように混交林化を行うのか検討が必要。具体事例も収集中とのことため、不安が残る
- ・広葉樹（混交林化へ）の手入れの仕方が難しいことが分かった
- ・広葉樹林化がいかに難しいかを知ることができた
- ・広葉樹林化の難しさが良く分かった
- ・基本的な内容であったが、大変参考になった

5点

- ・天然更新させるためのシステムが難しい。獣害対策にお金がかかる
- ・市町村向けに資料を使いたい
- ・針広混交林への施業はとても難しいことが分かった
- ・森づくりの概念から具体的な手法まで紹介いただいたが、結論として針広混交林化や広葉樹への転換は極めて困難であるということが分かった
- ・町管理地（森林経営管理制度）は針広混交林化や広葉樹林化を想定していく方が現実的に難しいことが分かった
- ・針広混交林づくりは難しいと感じた。すぐに結果を求めてはダメだと感じた

(7)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

4点

- ・市の林地台帳整備の更新を行う必要がある
- ・今後の市町村への指導の参考としたい
- ・制度を進めるにあたり、かなり苦慮されていることを実感した
- ・林地台帳の登記情報が大切、精度を上げる必要があると感じた
- ・意向調査に至るまでの情報整理のご苦勞が伝わってきた

5点

- ・当県でも同じ状況であり、意向調査には時間がかかる
- ・所有者情報の探索や境界明確化が課題である

- ・意向調査に至るまでの事前調査が大変必要である
- ・先進事例を聞くことができ、とても参考になった
- ・中津川市には森林担当課があり、山林労働者にも恵まれ譲与税を活用した意向調査の事前準備も着々と進められていることが分かった
- ・市町村の取組事例であり、今後の業務においてとても参考になった
- ・先進市町村の取り組みの中での問題点を教えていただき有難かった
- ・時間をかけて本例を聞いたので良かった

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

2. できていない

- ・一部事前連絡は直前となっていた
- ・今回の現地なら長靴等は不要

(2) 研修の進行・運営流れについて

2点

- ・全体的に時間不足。可能なら全ての講義に全県から意見させる時間がほしかった

3点

- ・問題なかった

4点

- ・概ね時間通りだったが、人数が多くて時間配分が難しかった
- ・各県との情報交換の時間をもっととってほしい
- ・スクリーンのポインター、もしくは指棒があると良い
- ・進行の方がうまく進行していただけたと思う
- ・程良い時間配分であった

5点

- ・テーブルを口の字にできたらしてほしい（皆の顔が見えて発言しやすくなる）
- ・一切の不満なし
- ・ヘルメット不要は助かった
- ・限られた時間の中で臨機応変に対応していただいた
- ・丁寧に対応いただき有難かった
- ・スムーズな運営だった

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

4点

- ・親切な対応だった

5点

- ・大変満足している。お疲れ様でした
- ・ありがとうございました
- ・親切に対応していただき有難かった

- ・大変お世話になった。今後ともお願いしたい
- ・一切の不満なし
- ・カメムシの駆除までしていただき有難かった
- ・細かいところまで気配りが行き届いていた
- ・丁寧に対応いただき有難かった
- ・研修としては十分な対応であった

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・実践的な研修はどうしても必要となってくるので、このような研修は継続していただきたい
- ・都道府県も困っていると思うが、実際この制度に直面している市町村にはもっと困っている方がいると思うので、できれば市町村レベルでの当研修を開催していただきたい
- ・市町村担当者向け（特に取り組みが遅れている市町村）の今回のような研修
- ・市町村によって取り組み方や進行段階が違うので、各段階の研修を当県でやってほしい
- ・市町や林政アドバイザー等、実務担当者に向けた研修の拡充
- ・集積計画の実技演習、またはそれに対する指導
- ・現地のモデル地区を利用した例題による集積計画の作成があれば良い
- ・集積計画のケーススタディ
- ・今回は集積計画作成までだったので、それ以降の手続き等についても知る機会があると良い
- ・今後の集約化計画作成から事業実施状況等の先進地の事例をまた教えてほしい
- ・今後、市町が関わる様々な状況の森林とその対応方法を検討する場がほしい
- ・広葉樹林化、混交林化についての技術研修、事例研究、設計研修
- ・針広混交林化や人工林の広葉樹林と天然林の混交林化に関わる研修があると良い
- ・森林整備以外の環境税の使い方、各県・各市町の先進事例、報告会等
- ・所有者探索の方法
- ・行政書や法律に関する研修

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。（研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。）

- ・新たな制度に置き換えるのではなく、あくまで「追加」であるということが印象に残った
- ・郡上森林組合から直接話を聞く貴重な時間が得られ有意義であった
- ・先進事例や広葉樹林化の難しさ等、実際に聞いてみないと分からないことを知ることができてとても良かった
- ・各県で苦勞されているところが共感できた
- ・「市町村森林経営管理事業のための森林施業」が大変参考になった
- ・質疑応答の時間がもっとあっても良い
- ・各県1名の発表では発言する機会がない人もいたので配慮して欲しい（グループ討議等）
- ・グループワークを用いた討議がほしい
- ・来年も同様の研修を実施するのであれば、研修期間を3日間から4日間にしてほしい
- ・市の集積計画が作成されるであろう、R2、R3年度に事例研修を希望したい
- ・現地の研修をもっと充実させてほしい

- ・ブロック単位のメリットとして、他県事例を知り、ネットワーク構築ができる。その反面自分の市に即時当てはまる内容が全てではないことの考慮が必要だと感じた
- ・意見交換等で現場の意見を聞いたので良かった
- ・「四日夜の意見交換会」。あのような場でこそその話し合いができた
- ・意見交換の時間がもっとあった方が良かった
- ・会議室が寒かった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

(1) 森林管理円滑化対策研修を 100 点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

60 点

- ・各講義での時間不足。資料（紙）が多すぎる。なるべく少ない方が後からの見直しをするときに楽で良い

70 点

- ・本市はまだ意向調査に至っていないので、その点についてもっと詳しく知りたかった

80 点

- ・各県の発表時間が足りなかった
- ・集積計画のケーススタディ（今後の要望として）【←今後のどのようなサポート&研修（4）に反映】
- ・現地のモデル地区を利用した例題による集積計画の作成があれば良い【←今後のどのようなサポート&研修（4）に反映】
- ・研修期間が短かったため
- ・時間配分にもう少し余裕があったら良い
- ・内容が濃く、もう少し時間がほしい
- ・実際にやってみて苦労した所が知りたかった
- ・まだまだ伸びしろがあると思うため

90 点

- ・時間が短い
- ・グループワークを用いた討議がほしい【←その他ご自由に（5）に反映】
- ・集積計画の作成はできるが、市森林経営管理事業のための施業について施業方法の選択ができるとは言えない
- ・予定時刻を過ぎることが多かった
- ・他県等の事例が大変参考になったが、これといった答えを持ち帰るまでには至らなかったため
- ・集約化計画から施業について状況が分からなかったため
- ・現場視察の内容が研修テーマにより 1 足したものであると良い

100 点

- ・仕事を 3 日間休んでまで参加して良かった

■近畿ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】

2点

- ・法律の知識が乏しく、行政手続法関連の話しが難しかった

3点

- ・各地域での市町村等の取組事例が確認でき良かった

4点

- ・制度を進めていく上であやふやな所が一応解消できた
- ・質問番号を解説いただく前に読み上げていただければなお良かった
- ・大変詳しい内容を短時間で聞くことができた
- ・全国の市町村取組事例が聞けて良かった
- ・概要は理解しているつもりであったが細かいところで思い違いをしているところもあり修正できた。先進事例の紹介も良かった
- ・制度の基本的な流れやポイントを理解できた
- ・制度の内容はおおむね理解できた。Q&Aについて、より詳しく知りたかった
- ・自分自身、林野庁からの説明を聞くのは初めてだったので、全体的に説明して欲しかった
- ・全国の先進事例やQ&Aを中心に丁寧に説明いただいたので大変勉強になった。自分自身がまだ不勉強のため、十分理解できなかつた部分もあつたのが残念であり反省。

5点

- ・制度の概要が理解できた
- ・様々な先進事例があることが分かった
- ・Q&Aを深く掘り下げて欲しかった

(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】

3点

- ・県がガイドラインを作成している等、有益な情報が得られた
- ・各地で状況が違い、幅広く取組状況と課題を知ることが出来た
- ・他県の取組をもう少し聞きたかった
- ・市町村の立場として、他府県（市町村）の考え方を知ることが出来た

4点

- ・他府県の取組の考え方を知ることができた
- ・各県の取組発表とその後の質疑によって理解が深まった
- ・他府県の取り組み事例が聞けて良かった
- ・他府県の様々な取組を知ることができ参考になった
- ・他府県の取組が参考になった
- ・他府県の取組状況がよく分かった。森林情報整備から取り組み始めているところが多く参考になった

5点

- ・奈良県のこの制度への取組の遅れを実感した
- ・各都道府県の取組内容が分かった

・各府県の取り組み状況がよく分かったし、今後サポートセンター間での情報交換の必要性を感じた

(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】

3点

- ・民間事業者との連携状況がよく分かりました
- ・森林組合と民間事業者との優位な関係について学べた
- ・視察だけではやはり良い面しか見られなかったので、地元の業者に対しては普段からコミュニケーションを積極的にとり、悪い面についても理解しておくことが大切であると思った

4点

- ・現地とセットの解説で理解が深まった
- ・伐倒～運搬までの一連が見えて、また、意欲ある事業者の話聞かせていただき、大変参考になった

- ・事業者の取組や作業道作設や流通方法など所有者へ返す金額が少しでも多くなるように工夫されていた

- ・改めて紀中森林組合担当者の思いが聞けて良かった
- ・優良な森林組合の取組を見ることができて良かった。ただ、経営管理制度の研修の中に取り込むことには少し疑問。

- ・森林組合と地元事業者がうまく連携してシステム販売を行っている事例を学ぶことができたが、持ち帰って活用できるかは疑問。

5点

- ・意欲のある事業者の考え方や姿勢を知ることができた
- ・優良民間事業者の熱心な現場を視察することができた
- ・この制度で皆伐や事業者の経済活動の支援を含むことがはじめて理解できた
- ・民間事業者との連携により紀中が意欲的に取り組まれていることが分かった
- ・生産から販売までつながった取組を知ることができ参考になった

(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】

2点

- ・やっぱり何回聞いても難しい。計画制度自体に疑問を感じる

3点

- ・ポイントを絞って説明していただき、分かりやすかったです
- ・各質問に対するコメントがあり、良く理解できた
- ・これについては分かっていないことが本当にたくさんあった。テキストを読み直して整理したいと思う

4点

- ・とりあえず意向調査をやってみる気持ちになった
- ・計画のポイントを理解できた。意向調査の重要性を再認識できた
- ・事前質問にも回答いただき大変理解できたが、実際に計画をたてる際には様々な課題が出てくるだろうと予想している。

- ・非常に難解。当初思っていた制度と若干違った
- ・分かりやすかった

5点

- ・国の本制度に関する考え方などがよく分かった
- ・ポイントを絞ってもらい大変分かりやすい説明だった
- ・集積計画に事業地開拓のイメージを受けた
- ・作成時の注意点がよく分かった
- ・特に重要な点だけをピンポイントで簡潔に説明いただいたと思う。

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

3点

- ・具体的な演習で非常に理解が深まった
- ・様々な優先順位の付け方が有り、参考になった
- ・林野庁からのコメントを参考に管内市町への指導に役立てたい
- ・他県の考え方が聞け、大変参考になりました
- ・事前作成した中で、一部認識が違っていた点を確認できた

4点

- ・対話形式で疑問が解消され有意義であった
- ・様々な考え方に基づいている計画を見せていただき自分にない視点が多数あり大変参考になった
- ・実際やってみることで疑問点が明らかになり良かった。他の方の計画にも参考になることがたくさんあった
- ・自身の勘違いが訂正されて良かった。理解が進んだ。

5点

- ・様々な視点の計画に対する考え方を知ることができた
- ・各地の集積計画の取組を知ることができ良い機会になった
- ・他の人の計画の考え方も大変参考になった
- ・様々な視点からの意見やそれに対する林野庁のコメントを知ることができて参考になった
- ・色々な考え方について学び、広い視野をもって取り組むことができた
- ・林野庁のコメントもあり、非常に参考になった
- ・事前課題の作成を通じて集積計画のポイント、間違いやすい点、留意すべき点等が共有でき、今後の参考になった

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

- ・生物多様性の観点からの森林整備について考えるきっかけになった
- ・広葉樹林化を考える上で最も重要なこととして前生稚樹の確認が重要であることが学べた

4点

- ・簡単に広葉樹林化ができるものではないと分かった
- ・広葉樹林化が難しいのに何ですのか？とまだ思う。
- ・針広混合林化や広葉樹林化は大変難しい施業であると再認識した。市町村森林経営管理事業によ

る施業方針も簡単には決めにくいと思った

- ・混交林化の困難さが根拠をもってよく分かった
- ・広葉樹林化の難しさを改めて実感した
- ・天然更新を成功させるのが非常に困難であることが分かった
- ・天然林育成を行っていくにあたり、大変参考になった
- ・簡単に混交林化等言えないけど、施策上、誘導していかなければいけない気がするので、すごく簡単なマニュアルがあれば良いと思った

5点

- ・植栽による広葉樹林の仕立て方法・技術の普及が早急に必要だと感じる。現場でも広葉樹の育成は難しいという声が多く、普及員の技術・知識がおいついていない
- ・伐採届の内容を精査する際の天然更新のあり方。
- ・非常に分かりやすかった

(7)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

3点

- ・先進的に取り組んでいる町の状況を確認することができた

4点

- ・町の考え方と自分（府）の考え方が同じ所、異なる所があるということを認識できた
- ・プロジェクトは所有者に残るお金のために重要
- ・便途は法律の主旨に立ちかえることが重要
- ・実情の話が聞けて参考になった
- ・先進的な事例で参考になった
- ・町の実情がよく分かった
- ・町役場課長の臨場感あふれる話が良かった
- ・あじのある説明で苦勞がよく分かった
- ・市町村がかかえる課題や問題点、実態を把握できた
- ・日高川町の現在の具体的な取組状況を聞くことができ、大阪府内での支援の参考になった

5点

- ・状況が異なるがよく頑張っておられると感じた
- ・日高川町が実際に取り組むうえで課題や問題点、また工夫などが分かった
- ・日高川町のリアルな意見や課題を聞くことができて良かった
- ・役場が抱える具体的な問題や立場について話が伺えて良かった。サポートが必要な箇所も分かって良かった
- ・田辺市では他市町村の事例を集めているので、非常に参考になった
- ・市町村の苦勞を改めて感じた

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

2. できていない

- ・事前課題が分かりづらかった

(2) 研修の進行・運営流れについて

3点

- ・現地研修の際、研修生が持っていない資料（現地に持参するように言われていない資料）を使って説明される場面があり、事務局と現地スタッフとの連絡不足を感じた

4点

- ・良かった。ただ、宿泊が別館だったのが面倒だった
- ・休憩を少し入れてほしかった
- ・とてもスムーズであったが、もっと休憩を多めに
- ・意見交換が十分できる構成となっていた
- ・初めに研修のねらいを伝えてもらえるのは大変良いことだと思う。時間オーバーで減点した

5点

- ・休憩時間も充分とっていただきありがたかった
- ・最後に制度に関する質問タイムを設けた方が良かった（初日にいきなりあったので戸惑った）

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

4点

- ・良かった
- ・運営スタッフの対応は良かった。ご苦労様でした

5点

- ・3日間研修だけではなくお世話になりました
- ・気軽に声をかけられる雰囲気で大変助かった
- ・スマートな進行や様々なフォローがあり良かった（追加の情報提供を盛り込むなど）
- ・運営ご苦労様でした。ありがとうございました

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・質問した県や問題はリアルタイムで発生するので今まで通り林野庁において常に電話したら対応していただければ良い
- ・フォレスターによる地域の森林管理構想の実現について学ぶ
- ・業務補助プログラム（地区内の森林情報（施業履歴など）をまとめるなど）の開発・整備
- ・他の都道府県職員や市町村職員と意見交換するスタイルの研修
- ・実施権配分計画に関する研修
- ・市町村と県と一緒に参加して演習等に取り組む研修
- ・集積計画の作成についてもう少しつっこんだ内容の演習と法律関係のサポートがほしいと感じている。あと、森林環境税とはこういうものだという周知がもっと必要だと思う
- ・意向調査が進み、集積計画を作成していく中で出てきた課題などの情報提供
- ・市町村向けの同様の研修があればまた是非参加したいと思う
- ・Q&Aにひたすら答えるものでも良い（そこから広がりができると思う）
- ・現場を入れるのであれば針広混交林に誘導のポイントなどの現場があれば良いと思った（難しいとは思いますが）

- ・お話は伺ったが、Q & Aを出していただくのは大変ありがたい
- ・森林経営管理制度の各段階ごとの実践的な研修を今後順次やってほしい
- ・各都道府県のサポートセンター（市町村に対する支援、相談窓口部署）が定期的に情報交換等ができる場があれば良いと思う

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。（研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。）

- ・集積計画の演習は色々な考え方があるということを再確認させられた
- ・2日目の意見交換が良かった（企画として）
- ・紀中森林組合の現場は「日本の林業の補助政策の縮図」として印象深かった
- ・今回無理をお願いし研修に参加させていただいたが、今後このような研修を企画される場合、県の担当宛だけでなく（県や市町村で情報が止まる）、林野庁 Facebook など外向けへの情報発信を行っていただければうれしい
- ・研修にあたり色々準備等ありがとうございました
- ・まだまだ手探りな部分も多い制度。少しずつでも進めることが大事だと思う
- ・自身でかなり勘違いしていた部分が改善された
- ・大変有意義な研修だった。ありがとうございました。ただし、最後のブロック会議の資料依頼についてはちょっといただけない
- ・講義や現場視察だけでなく、受講生間の交流等も含めて有益な知識情報を共有することができた

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

(1) 森林管理円滑化対策研修を 100 点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

80 点

- ・集積計画策定に至る手順をもう少し踏み込んだものとなるよう期待していた
- ・現在取り組んでいる現場の視察も良かったが、もう少し意見交換ができれば良かった
- ・研修全般を通しての時間配分、もう少し余裕があり、意見交換等ができる時間があれば良かったと思う

90 点

- ・地元の取り組みを説明していただいたが、少しオーバーな対応だったのではないかと
- ・開催県に参加者が偏っていた点
- ・もう少しグループでのフリートーキング的な時間があればより情報交換ができたのでは
- ・内容を少しつめこみすぎのように感じた。現地はなくても良かったのではないのでしょうか
- ・集積計画の演習について、みなさんの発表はとても興味深かったが、1つ正解の事例を示していただく、または、全員で講義を聞いた上で再度作成してみる演習等があればより良かったと感じた
- ・普及向けの研修であれば一貫施業現場があっても良かったと思うが、今回研修についてはあまり必要性が感じられなかった

■中国ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】

4点

- ・質問事項に丁寧に回答頂き有難かった
- ・制度の説明は何度か受けたことがあるが、改めて知る機会となった
- ・取組事例として具体的な意向調査方法や所有者への説明会の内容を提示していただけるとより分かりやすいと思った
- ・林野庁の説明時間が足りなかった

5点

- ・集積計画を立てる場合、誰と話をすべきか難しい所が理解できた
- ・疑問を解消できて良かった
- ・林野庁担当者からの説明により、制度内容の再認識をすることができ、かつ、他組織の方々の日々の疑問を知ることも参考になった
- ・Q&Aの解説時間がしっかりとられていたので分かりやすかった
- ・1-1-1回答集についてA以外もポイント説明がほしかった

(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】

3点

- ・他県の取り組みの内容を聞き、鳥取西部についても他市町村と足並みを揃えて制度を進めて行きたい

4点

- ・対応が様々であった
- ・県ごとの実情の違いが分かり参考にしようと思った
- ・県によって市町村へのフォローが違い、制度への理解度が違うことにも驚いた。新しい繋がりができ、これから意向調査を行うにあたり、助けになると思う。

5点

- ・各県の取り組みが良く分かり、参考となる所があった
- ・各県の取り組みについて具体的に知ることができ、今後の業務の参考とすることができた
- ・各県で工夫して取り組んでいることが分かったので今後参考にしていきたい
- ・他県や他市町村の現状や課題を聞くことができて参考になった
- ・他所での取り組みが参考になった

(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】

3点

- ・林業を持続的に進めていくには、地元で根を張ることが必要だと感じた

4点

- ・森林組合が地域貢献を考えていることが理解できた

5点

- ・施業地の管理についてもう少し時間をかけて研修してほしい
- ・地域と密着し、地道に活動されて素晴らしいと思う。もう1カ所ぐらい現場に行きたかった

- ・他県の意欲ある事業者の状況はとても参考になった
- ・森林組合が意欲的に活動していくことが地域の林業振興で重要になることが良く分かった
- ・実際に現場を見て説明を聞くことができて良かった
- ・実際に事業をしている事業者と現場や意見交換をすることで、書面では分からない内容や新しく疑問もできて大変勉強になった。こんな研修が増えたら良い
- ・取り組み状況、現場の声が分かり参考になった

(4)経営管理権集積計画の作成【講義】

4点

- ・集積計画作成の流れを復習できた
- ・作成時に疑問に思った所有者（死亡していた時はどうするの）の記入方法等を理解できた

5点

- ・林小班が最小単位ということで良く分かった
- ・集積計画の記載内容について良く理解できた
- ・良い復習となった
- ・県内の状況として、集積計画の作成の段階に入りつつあるため、内容理解に努めた
- ・記載内容の注意点を理解できた
- ・手引きについてポイントを説明してもらい分かりやすかった
- ・「公告することで公平性が確保される」ことが分かった

(5)経営管理権集積計画演習【演習】

4点

- ・集積計画の作成について不明点が多かったが、ある程度の疑問が解消された
- ・各地域のアプローチの方法が異なり、考えさせられた
- ・各県の制度進捗状況も踏まえて理解することができた
- ・受講生が作成した案をもとに意見交換やアドバイスをもらうことができて良かった
- ・経営管理集積計画をする側の思いによって集積計画が違ってくる

5点

- ・課題と問題を整理し、修正する方向が分かった
- ・他県、他町の内容を見て広葉樹の取り扱いが実感できた
- ・各地域の実情を踏まえ得た内容であったので、参考になった
- ・様式を変えてはいけないこと、基本、ひな型通りとすることが分かった

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

4点

- ・市町村管理の手法として広葉樹林化に必要な考え、手法を知ることができた。キーワードとしては、埋土種子、針葉樹の複層林
- ・広葉樹の天然更新は難しい施業であり、前生稚樹が重要であることが分かった
- ・人が頑張っても自然環境や動物等の影響で大変難しく、コストや時間がかかることが良く分かった

5点

- ・前生稚樹の大切さを理解できた
- ・これから向かうべき方向の指標とすることができた
- ・素晴らしい取り組みで、自身の林業に向ける情熱が遠いなと感じた
- ・シカが多いので悩みどころが多い
- ・広葉樹林化施業を行う上で、注意するポイントを知ることができたので良かった
- ・民有林での実施をしてみたい
- ・人工林の面積が少なく、積極的に経営管理をするというよりかは針広混交林にしていきたいという考えをもっていたが、大変さが良く分かった
- ・シカ対策、広葉樹林化の難しさを改めて感じた

(7)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

4点

- ・先進過ぎる成功事例であったが、県内の市町村でも考え方等参考可能な部分があると思った
- ・先存取組事例として話を聞くことができて良かった
- ・森林資源の有効活用のリサイクルが素晴らしい
- ・資料、説明は大変良かったが、大まかには分かるが色々あって頭がついていけなかった

5点

- ・百森の役割が理解できた
- ・制度の向かうべき方向を実感することができた
- ・まねのできる場所は真似したい
- ・市町村の独自の森づくりの構想を設定することが重要であると思った
- ・状況が違うので同じに組みはできないが、方向性が明確である点、村の活性化に繋がっている点は参考にしたい

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

1. できていた

- ・宿題の依頼はもう少し早くしてもらえると助かる
- ・3日目しか参加せずにすみません

2. できていない

- ・事務局側の要因ではなく、県内部の連絡体制
- ・メールが届かない状況のものがあった
- ・研修参加の連絡や事前課題への周知が遅かったため、調整必要となった

(2)研修の進行・運営流れについて

4点

- ・現場時間が限られていたので森林総研の先生の現場時間が望まれた（森林総研の先生の現場同行があれば良かった？）
- ・ホワイトボードへの進行、運営の流れが示され分かりやすかった

- ・予定スケジュール通り進めて頂いたと思う
- ・時間配分を考え、スムーズな進行・運営をして頂いた

5点

- ・時間通り進められて良かった
- ・最終日の閉講後の連絡は事前にいただきたい（電車時刻の調整があるため）
- ・3日目のみの参加を認めて頂き有難い

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

4点

- ・新見市森林組合には大変お世話になった
- ・丁寧に対応頂いたと思う
- ・色々な心遣いをして頂き感謝。お世話になりありがとうございました。お疲れ様でした

5点

- ・丁寧であった
- ・大変お世話になった
- ・適切なタイミングでフォローがあり助かった
- ・研修を運営される姿勢は良かったと思う
- ・3日目のみの参加を認めて頂き有難い

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・今回のような研修を継続して頂ければと思う
- ・意向調査手法についての講義があると良い
- ・集約化の実務を深めた内容の研修
- ・集積後の実施権の作成方法
- ・進捗に合った段階毎の研修があると有難い
- ・制度の進捗に合わせて、各自治体の取組状況を紹介
- ・市町村担当者は次々と変わっていくので、市町村向けの研修を毎年開催してほしい
- ・市町村職員は数年で異動し、林務について全く知識の無い職員も担当する。各市町村で引継ぎをすべきとは思いますが、難しい状況のため、初任者研修があれば助かる（都道府県主催でも良い）と思う
- ・森林初心者（林業資格のない人）が理解しやすい研修
- ・GISを使用して対象森林の絞り込み方の講義をしてほしい
- ・事業を加速化していく施業の提案
- ・他会場も含めたQ&A
- ・簡単なQにも電話やメールで教えてくれる総合的なサポートがほしい

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。（研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。）

- ・良く考えられた研修内容だったと思う
- ・3日間、少人数でこれぐらいの規模の研修が丁度良い

- ・新見市森林組合の現場視察と講義
- ・組合の取組状況を聞いたので、他事業体からの話も聞いてみたい
- ・現場の声が聞いたことが良かった
- ・針広混交林化を安易に考えていたので担当部署でもう一度協議したいと思う
- ・演習の時間がもう少しあればもっと良いと思った

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

(1) 森林管理円滑化対策研修を 100 点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

70 点

- ・制度の内容については中央研修でも講義されていたので講義時間を調整しても良いと思う

80 点

- ・1つ知ってはどんどん疑問が出てくるが、解決しきれなかった
- ・事前課題の準備にもう少し時間はほしかった
- ・集約化の実務を深めてもらいたい
- ・1泊2日でできたらもっと良かった

90 点

- ・現地が物足りない、意向調査に関する内容もほしい
- ・重要な研修であり、もっと多くの県、市町が参加すべき
- ・現場を見る時間がもう少しあると良いと思った

■四国ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】

3 点

- ・改めて復習となった

4 点

- ・復習ができた
- ・民有林全てをカバーする制度でなく、その課題解決のための1つのツールである。経営権を受け取るための調査ではなく、きっかけ
- ・他の自治体の事例は参考になった。来年度のデータベースと相談窓口に期待したい
- ・他県の独自の取り組みについて、今まであまり知る機会がなかったのでとても参考になった
- ・皆不安を抱えているのが分かり、ある意味安心した。市町村は地域の揉め事の矢面に立っている。揉め事が起こらないように勧めるため、いろんな取組事例（失敗事例）の情報提供を積極的にお願いしたい

- ・制度の主旨を理解できた
- ・大まかな概要と現状を理解・認識できた
- ・改めて何点か確認することができた

5 点

- ・改めて制度について気づきがあった
- ・制度に関する理解がより深まった
- ・制度の基本について理解できた
- ・再度制度の周知を復習できた。質問・回答が特に今後の参考となった
- ・概要説明で、改めて制度の内容を把握できた。質問へ一つ一つ答えていただき、非常に分かりやすかった
- ・林野庁の担当者の声を聞いてとても参考になった
- ・日頃より運用について促している立場だが、逆に振り返ることにより、大変復習になり、安心した

(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】

3点

- ・拙い説明になったが、実際発表してみて自分のまとまりにもなったので良かった
- ・率直な意見を聞いて良かったが、メモしきれないところも多かった
- ・各県がそれぞれ工夫しながらやっているのが良く分かるが、どう市町村をフォローしていけるのかこれからの課題
- ・各県で取り組みの進展に差があることが分かった

4点

- ・参考になった
- ・市町村に向けてのフォロー体制、仕組み作りについて試行錯誤していると感じた
- ・全国の自治体の事例集等があると業務の参考になると思われる
- ・市町の取り組みの足並みが揃っていない等、市町村が抱える問題を通じて今後どうサポートしていくのかが重要だと思う
- ・各地域の取り組みの概要だけではなく、詳細もあれば助かる。
- ・各県の状況（進捗）と課題が少し認識できた
- ・分かりやすい資料を用意した方が良かった

5点

- ・各県の市町村の意見・取組が聞いて良かった
- ・各県市町の取り組みが良く分かった。質疑・応答が特に今後の参考となった
- ・各市町がどのような取り組みをし、どのような課題を抱えているのかを知り大変参考になった
- ・各県と問題点等の意見の共有が図られた

(3) 制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】

3点

- ・思いが伝わってきた

4点

- ・林業の情報が多く参考になった
- ・伐採から造林まで一貫施業に取り組み、獣害対策等の結果が得られないこともあるが、「循環型林業」に挑戦する熱意を強く感じた
- ・機械の多用による省力化で担い手不足の問題をカバーし、作業効率の向上にも繋げており、林業

における問題を踏まえた取り組みをしていると感じた

- ・森林組合の状態についても知っておくべきと思う
- ・皆伐から再生林まで工夫されており、資源も効率良く加工販売されている
- ・優良事業者の取り組みの経緯・意識を聞いて参考になった
- ・最後の取りまとめのポイント、視点が不明確。「単に事業者への事なのか?」「制度運用のための事業者の事なのか?」
- ・徳島県の優良な事業者の状況は分かった

5点

- ・各県の状況が良く分かって参考になった
- ・事業者の声が聞いて良かった
- ・建設業から林業へ参入した事業者の話が聞いて参考になった
- ・優良民間事業者だけあって、取組事例には大いに参考となることがあった。感動した
- ・主伐、再生林の一貫施業を行う事業者は当地域には事例がなく参考になった
- ・急進的な事業者の話を知ることができて参考になった
- ・とても優良な事例があり参考になった。立木買取でなく、自社有林として管理していく道を選んだ点が良い。これからの保育班が課題
- ・自県にもこのような企業があれば良いと思った。山ごと買取は魅力的。
- ・自県では、認定林業事業者の運用が必要とされる中で、参考とすべき点が大いにあった
- ・とても優良な事業者だと感じた

(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】

2点

- ・情報量が多く、まだ整理できていない。多くのパターンで試行を繰り返す必要があると感じた

3点

- ・意向調査、再委起業バランスも考えて行うことも大切であることが分かった
- ・実際にやってみないと分からないことが多かった
- ・一部完全に理解できない部分もあったので整理したい

4点

- ・より理解が進んだ
- ・計画の作成にかかる問題点について理解が深まった
- ・制度の概要について理解を乏しい部分もあったが、今回の講義で理解が深まった
- ・今まで勉強してきた中で、思い込みや誤解もあったが、是正されて良かった
- ・要点がまとまっていて良かった。配分計画等の先の内容にも触れても良かったと思う

5点

- ・細かい説明をいただけて理解が深まった
- ・計画作成の留意事項が再認識できた。手引きを読み解くことができた
- ・手引きやマニュアル等を深く読み込む時間がないため、細かな説明がとても勉強になった
- ・作成の流れについて自分で勉強した内容との照らし合わせができた

(5) 経営管理権集積計画演習【演習】

2点

- ・情報量が多く、まだ整理できていない。多くのパターンで試行を繰り返す必要があると感じた

3点

- ・他の方の選出方法が参考になった
- ・手引きに沿って集積計画を作成し、流れは理解できたが、様々なケースが想定されることから、実際に計画策定してみないと分からないと感じた
- ・ただ発表を聴講する内容ではなかったのが良かったが、演習とするなら、実際にモデル的に同じ場所を受講生同士で作成してみても良いのではないかと思った
- ・研修内で勉強や意見交換を行いたいポイントを絞って、課題の様式に明記してもらうようにしてはどうか。(作業の流れ(フロー)を簡単に記入するなど)
- ・初めて作成したが、理解不足の部分があると分かった

4点

- ・より理解が進んだ
- ・他の方々の計画を見て参考になった
- ・具体的に集積計画を作成した上での演習だったが、理解が不足していたところを理解できた
- ・それぞれの地域の事情を考慮した上で計画を作成しているものも多く、大変参考になった
- ・アンケート調査の段階からを想定しているのもっとリアルで良かったと思う。
- ・契約内容の記述方法について理解を深められていた

5点

- ・色々な考えで取り組み、集積計画を作っており参考となった
- ・いろんな考えで対応できることが分かった

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

- ・長期的な視点がやはり必要だと思った
- ・天然更新により混交複層林に誘導することの難しさは理解したが、実際に切り捨て間伐を進めた時にどう複層林化していくか考えていけないと思った

4点

- ・より理解が進んだ
- ・林業生産だけの視点だけではなく、目標を掲げながら実行することの難しさ、100年森づくりを引き継ぐことをしていく必要を感じられた
- ・広葉樹林化の難しさ、前生稚樹の重要性を感じ、地域の特性に合わせた取り組みが必要だと思う
- ・混交林化について譲与税の活用を検討すべきではあるが、各関係機関との調整や地域特性に対する調整は必至だ
- ・混交林化等の知見が聞けて参考となった
- ・針広混交林が難しいということが確認できた

5点

- ・広葉樹林化への理解が深まった
- ・とても工夫しなければ、複層林、混交林を目指すことが難しいと再確認できた
- ・広葉樹林化が難しいことが分かった。一定の条件の上に成り立つことを皆で認識することが必要

- ・広葉樹林化について、天然更新完了期間との整合性が気になる
- ・広葉樹林化の難しさが改めて理解できた
- ・天然更新完了基準の運用については疑問点も多い
- ・理想とする森林のイメージはできたが、所有者にまで浸透できるのか

(7) 先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

3点

・制度を現場に落とし込み、工夫をされ、また、将来に向けての課題を洗い出していることを知れた

・改めて整理ができた

4点

・意向調査や計画策定は事務的にできても、実際の施業に繋げていけるか課題であることを改めて感じた

・「本当に必要なのは意向調査後の森林整備事業である」ことは同感。受け皿となる担い手の育成が課題。仕事ができれば、将来担い手も増えてくると思った

・意向調査実施時には、その後の施業等にも十分注視し、見据えた上で取り組むことが重要だと思う

・先進市町村と苦労等を感じることで参考となった

・純粋な市町村職員の方から話を聞きたかった（説明者が県職員だったため）

・現在すでに進んでいる事例を聞いて良かった

5点

・良く理解できた

・まだ開始できていないので参考になった

・市町村ごとにそれぞれ色々な意見や方向があり、また、他の地域の意見等聞いてみたいと思った

・まさに今やっていることなので実感があつた。同じ内容、参考になる内容であつたので、帰って地元市に参考として情報提供したい

・とても参考になった

・リアルに参考になった

・当県支援センターは各2団体に追従する点も多くある

・意向調査を実施してく参考になった

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1) 研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

2. できていない

・メールが不達だったのと、会場やカリキュラムの急な変更が多かったため

・宿泊の手配ができていないのかの連絡がなく不安だった

「3日目の会場案内が2Fになっていたが、実際は3Fだった」等、事前連絡が不十分なところがあった

(2) 研修の進行・運営流れについて

3点

- ・時間管理は厳格な方が良いと思う
- ・概ね良いと思う
- ・受講生が行う作業の趣旨が今一つ不明

4点

- ・少しトイレ休憩が欲しいコマがあった
- ・運営側から質問等の積極的な発言があったのでより理解が深まったと思う
- ・各プログラム毎の内容は問題なかった。充実していた。質疑の時間や発表の進め方などはさらにブラッシュアップできるのではないか
- ・大変お世話になった。雰囲気も重くなく良かった
- ・今回現地に行けなかったのは残念だった

5点

- ・進行・運営等スムーズにできていたと思う
- ・よく考えられ、目的に合った運営となっていた

(3) 研修運営スタッフの態度・対応について

3点

- ・概ね良いと思う

4点

- ・丁寧で良かった
- ・研修概要やスケジュールについては、事前の資料通りなので不要だったのではないか

5点

- ・よく考えられ、コメントもタイミング良く出され良くできた運営となっていた
- ・事前のメール等の問い合わせも丁寧に対応していただき大変助かった
- ・隅々までケアしていただき助かった
- ・何も不満はない
- ・丁寧に対応していただいた

(4) 今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・制度が活用され進んでいけば、事例も増えるので色々と聞いてみたい
- ・制度がもう少し進み問題が多く出てきた頃に、同じ目的の研修をするとより実感がわき、分かりやすいと思う
- ・今後、制度の運用を進めるにあたって発生した課題や問題点等を取りまとめ、実際にどのような対処をしているのか、どう対処すべきか等の研修をしていただきたい
- ・他県や他市町村の事例の情報提供、運用後の定期的なQ&Aの研修
- ・実際に進めてトラブル等のあった県市町村の事例も聞かせてほしい
- ・経営管理制度の事例等をまとめて、内容等を説明していただけるような研修
- ・市町村職員対象の実務研修
- ・実際に運用していく市町村担当者に積極的にご参加いただき、事例も踏まえた研修に参加したい
- ・県ごとに進み具合も違うため難しいが、自県としては、まだ集積計画の段階ではなく、意向調査

に向けた市町担当者向けの研修が必要と感じた

- ・各ブロックでの市町村職員向けの研修を開催してほしい。東京で開催されているが、遠方まで向かう必要があるため、市町村は前向きに検討できない
- ・新たな森林管理システムの運用において、実際に集積～施業まで至った団体の講演
- ・現地視察
- ・集積計画作成後のプランニングや配分計画に至るまでの演習等
- ・その後の配分計画などの実務研修
- ・譲与税の使道・判断基準に関する情報共有で、オンライン会議でできると良い

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。(研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。)

- ・目的に合った良い研修であったと思う。引き続き、情報の提供をお願いしたい
- ・担当が1名の町村職員には大変参考になり、安心もできた
- ・2日目の民間事業者の講義が印象に残った。現場で働く人の意見をもっと聞きたい
- ・事業者の講義
- ・全体講義を通して、森づくりは100年の話であり、理想とする目標を掲げ、次世代につなぐこと。そして、担当者で取り組む、また、所有者・地域を巻き込んで行う必要があると感じた
- ・三間先生が我々の立場に立って対応していただいたことに感謝
- ・疑問、不安、課題の共有という点で、次回開催を期待したい
- ・経営管理集積計画を手引き等だけで課題を考えたり、作成したりするのは難しかった
- ・研修時、出席者の名刺のコピーをいただければ良かった

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

(1) 森林管理円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお書き下さい。

70点

- ・内容が盛りだくさん過ぎる。論点を絞って集中、実務研修にした方が良いと思う
- ・事前課題で考えるべきポイントを示しておくとお互いに実習が盛り上がり良くなったのではないかと思う
- ・森林経営管理制度の運用や実務に重点を置いた研修にしてほしい。所々、単なる事例発表や意見交換会になっている場面があった
- ・細かい部分だが、「3日目の会場案内が2Fになっていたが、実際は3Fだった」等、事前連絡が不十分なところがあった

80点

- ・時間管理と研修場所の統一
- ・経営管理集計計画の実例が少ない中で難しいと思うが、算定にあたっての課題をもう少し示してもらいたかった
- ・現地実習ができなかった点
- ・当方の都合で四国ブロックに参加したのでこれまでに聞けなかった意見を聞くことができたので良かったが、自県とは異なる部分がありその部分を減点とした

90点

- ・林野庁の方とお話しできて良かった。大変有意義であった
- ・先進地市町村の取組について、市町村担当者の声も併せて頂ければ良かった
- ・集積計画の課題について、地域の事情を考慮した計画内容を作成している人が多かったので、そうした点について記入する項目があるとより良い
- ・市町が主体となることから参加の枠組は広げても良いのではないかと思う

■九州ブロック

I 本研修のねらい・内容をそれぞれの程度理解できましたか？

(1) 森林経営管理制度の概要と現状【講義】

3点

- ・分かりやすかった

4点

- ・今の法案関連の動きについて詳しく聞きたかった
- ・最新の状況が話題となった。県・市町村で共有したい
- ・制度の概要や考え方が理解できた
- ・全国的な現状を知ることができて良かった。特に令和2年度の新規事業について、国交省、法務省の動きを知ることができて良かった
- ・全体の流れを掴めた。林野庁の考え、本音も聞くことができた
- ・林野庁の本音を聞いて良かった
- ・所有者不明土地の対策を進めてもらうことが、制度の推進に必要なので順次情報をいただきたい
- ・事例と質問に対する回答は参考になった
- ・分かりやすく、事前の質問にも丁寧に回答していただき大変参考になった
- ・室木係長の説明が上手で良く理解できた

5点

- ・日頃疑問に思っていたこと等が講義の中で一部解決できた
- ・大変分かりやすい解説で理解が進んだ
- ・制度の復習と各地域の取組事例を聞くことができ、とても参考になった
- ・所有者不明土地等の問題の検討状況が伺えて良かった
- ・共有者、所有者不明森林の探索と公告については最も望まれた制度と思う。是非、前倒しができればと考えている。分かりやすい説明であった
- ・森林経営管理事業は、行政計画であるため、申請との調整が可能
- ・各市町等の取り組みや事前質問に対する解答等、分かりやすく講義を聞くことができた
- ・分かりやすい説明で理解できた

(2) 都道府県における制度取組の現状と課題【発表及び意見交換】

3点

- ・どこも先進的な取り組みは難しい様子。課題は共通している
- ・各県の進捗はまちまちと感じた。年百万円程の譲与税額の市町村もあり、実行は難しそうと思った

・まだスタートしたばかりで、手探りの状況からどういう形で一步進めるかということと、どこを目指すかと両方が大事である

・意見交換の時間がもう少し欲しかった

4点

- ・各県の質疑応答が参考になった
- ・各県の課題等が把握できた
- ・時間の余裕がなく、もっと聞きたいことがあった
- ・他県の取組例は大変参考になった
- ・各県の取組状況が分かり参考になった
- ・他県の取組が参考になった
- ・各県の状況が分かり良かった

5点

- ・各県の実際の取り組みが聞けて大変参考になった
- ・他県の取組例を知ることができて大変参考になった
- ・各県の取組状況を知ることができた
- ・九州管内の事例を共有できて良かった
- ・他県のアドバイザーの状況を知ることができた
- ・近隣自治体の取組、動向を資料とともに説明いただき、理解することができた
- ・各県の状況が違うが、同じ悩みを持っていることが分かった
- ・各県の取組が非常に参考になった

(3)制度運用のための優良民間事業者との意見交換【現場視察・意見交換】

2点

- ・本県の耳川広域森林組合が全て取り組んでいる内容である。17千haで職員17名、羨ましい

3点

- ・本県の事業者のため知識はあった
- ・組合の概要は理解できたが、地域における組合の役割等をもう少し深く説明して欲しかった

4点

- ・作業工程の見直しや再生林の取組等、とても参考になった
- ・上球磨森林組合を通して意欲と能力のある林業経営者がどうあるべきかということが分かった

5点

- ・まさに、「意欲」と「能力」のある事業体の実例で非常に参考になった
- ・まさに「意欲」と「能力」を兼ね備えた事例を聞くことができ大変参考になった
- ・以前にも視察させていただいたが、その頃より更に発展している様子。また話しを伺いたい
- ・明確なビジョン、継続的な取り組みが大変参考になった
- ・優良な森林組合の事例を聞くことができ、管理能力の高さが大変参考になった。森林組合指導の参考にしたい

・上球磨森林組合のさらなる発展を願う

・日々、別の森林組合内にて働いているが、大変驚いた。理念、方針を掲げ、数値で経営者が判断している点はまさにビジネスパーソンとして信頼ができる

- ・現場の生の声として説得力の高い内容であった
- ・日頃伺えない貴重なお話を聞けて良かった
- ・優良民間事業者としてふさわしい発表であった
- ・再造林が100%としっかりできている。労働環境も素晴らしい
- ・他の事業者が入ってこない環境は羨ましい
- ・上球磨森林組合の前向きな取り組みが参考になった

(4) 経営管理権集積計画の作成【講義】

2点

- ・大変難しい。意向調査からどの林分を計画立案すべきかの判断は個別に要素が絡み、経験必須と感じた
- ・発表者の事例を参考としていきたい

3点

- ・実際にやってみないと分からない部分が多いと思った
- ・今まで集積計画については深く理解していなかったことに気付いた
- ・計画立案に対して実感がわからない
- ・あまり予習ができていなかったため難しかった

4点

- ・詳細が理解できた
- ・計画の記載項目の考えを確認したい部分が残った。費用・収益の明示ができるのかどうか
- ・まだまだ手引きを読み込む必要性があると感じた
- ・受託者の義務として管理簿を作成したり、施業方法の適切さ等、市町村が記録を残す必要があるが、マンパワーがそこまでできるのかが疑問
- ・資料も分かりやすく、読み直して理解したい
- ・林野庁の説明が良かった

5点

- ・計画作成の実務のヒントになった
- ・集積計画の記載事項について細かな解説をいただき、モヤモヤしていた部分が明らかになった。勘違い、理解が足りなかった部分を改めることができた
- ・集積計画の進め方、考え方が自分の中で整理できた
- ・これを市町村に分かりやすく伝える努力が必要。まず自分達が覚えなないといけないうい訳すると時間が足りない
- ・必要に応じた間伐等の書き方は具体的に記載する。経営管理実施枠が設定される部分とされない場合のバランスをとることに注意したい
- ・具体的な解説で参考になった

(5) 経営管理権集積計画演習【演習】

1点

- ・私の立場が公務員ではないため、使用できる情報に制約が多く、実務ができず残念であった

2点

・取組内容を地域の実情に合わせてどのように記載すべきか、訴訟リスク等も考慮すると難しい面がある

・発表者の事例を参考としていきたい

3点

・いろんなことに気付かされた

・計画立案に対して実感がわからない

・各県とも同じような内容で、計画の独自性が少し足りなかったように感じた

・各県の取組状況が分かり、勉強になった

4点

・実際作成したことは参考になった。所有者よりのものを作成したい。柔軟にできることが理解できた

・経済性に重点が置かれすぎる視点を改める点で、とても大切な講義だと感じた

・自分が作成した事例の不備を教えていただき良かった

・図の作り方は参考となるものがあった

・林野庁の人に褒められた、良かった

5点

・各県の考えを知る良い機会となった

・様々な視点で取り組まれた計画を見ることができ参考になった

・実践演習で課題が見えてきて良かった

・経営管理集積計画の整理番号等、管理方法も検討したい

・具体的な作成内容が体感できて参考になった

無点

・各県での地域の実情に沿った計画だと思った

(6)市町村森林経営管理事業のための森林施業【講義】

3点

・大変分かりやすかった

4点

・針葉樹林の広葉樹林化について漠然としか考えたことが無かったため、非常に参考になった

・針広混交林への誘導の難しさが理解できた。森づくりの理念と目標林型の考えについて今後取り組みたい。100～200年の長期を考えることの重要性

・天然更新の難しさが分かった

・もう少し詳細の説明が欲しかった

・大変参考になった

5点

・新しい知見を得られて非常に参考になった

・天然更新を安易に考える市町、森林所有者が多いため、指導する上で大変参考になった

・とても分かりやすかった。広葉樹林化の困難さは理解したが、モヤッとしていたものを確認できた。大変参考になった

・針広混交林、広葉樹林化は難しい

- ・目標林型を定め、広葉樹林化、複層林化を進めるにあたって考え方が整理できた。更新の難しさを改めて感じた
- ・広葉樹返還の難しさ、あえてそのまま壊さない
- ・大いに期待したいし、賛同できる天然林化
- ・天然更新を確実に行うには条件があり、ハードルが高い。今ある森林の維持を行うのが良い
- ・現状では主伐の複層林や天然更新は検討していなかったが、生物多様性も考慮する現場もありえることから参考となった
- ・森づくりの考え方、広葉樹林化について理解することができた
- ・思っていたより複層林化は難しい。天然更新はほぼ無理

(7)先進市町村の取組事例【講義・意見交換】

3点

- ・本県と状況は似ている。継続的な取り組みが必要
- ・大変恥ずかしかった
- ・具体例を整理しておけばより良かった
- ・苦労話を聞くことができ今後の参考になった

4点

- ・活発でない地域でもやれることがある。電話番号は重要
- ・林業に専従する人ではないのに、4年間で得られた成果は大きい。細かい気遣いが所有者に信頼されると思われる
- ・実際実施して見えてきたことを聞き参考となった
- ・林業への関心が低い地域の部分の場合の苦労が聞け参考となった
- ・意向調査と集約化の難しさが伝わってきた
- ・制度ができる前に先行してやられているということで大変参考になった

5点

- ・具体的な事例を知ることができて非常に参考になった
- ・アンケート調査の事例、苦労を紹介いただき参考になった。早速市町の指導に活かしたい
- ・興味あり過ぎ。視察に行きたい。一番良かった
- ・実践的な取り組みのご苦労を知り、工夫されている内容は本県の今後の調査に取り入れたい
- ・意向調査実施の際のポイント等を伺って非常に参考になった
- ・制度が始まる前に取り組んでおり、失敗事例や改善の内容を意向調査に活かしていきたい
- ・具体的な取り組みを説明いただき理解できた
- ・苦労した部分が理解できた
- ・大変参考になった

II 研修の進行・運営、研修設備等に関する評価

(1)研修に係る事務局からの事前連絡等は十分できていましたか？

1. できていた

- ・研修前より制度の取り組み方が分かった

2. できていない

- ・意見交換会の連絡をもう少し早くお願いしたい
- ・所有者不明の場合について十分な理解をしていなく、事前に研修に向けて勉強が必要と感じた(ので詳細なプログラムの連絡が欲しい?)
- ・自分のメールアドレスを自宅にしたため、直前になってからしか連絡が取れなかった(自分のミス)

(2)研修の進行・運営流れについて

3点

- ・演習の課題の出し方をもう少し工夫した方が良かった

4点

- ・全体としてはとても良かった。ただ、進行者の気持ちは理解できるが、講師への質問は不用なものが多かった。時間が短く済むのは良い、待ち時間が長い
- ・進行が分かりやすかった
- ・進行・時間、運営が良かった
- ・準備からスムーズな進行ありがとうございました

5点

- ・運営側からも質問や補足があり、理解の役に立った
- ・雨や会場の時間制限がある中、ありがとうございました
- ・進行がスムーズで有難かった
- ・進行役がスムーズに研修を進められたと思う
- ・細かな点まで行き渡っていた
- ・当初は発表等、重たい研修と思っていたが、参考となる情報を知ることができた
- ・時間配分通り、スムーズであった
- ・実践的で良かった
- ・スムーズな運営だった
- ・細やかな配慮が有難かった
- ・何も問題なく良かった
- ・スムーズに行っていた

(3)研修運営スタッフの態度・対応について

5点

- ・ありがとうございました
- ・親切・丁寧
- ・アットホームな雰囲気良かった
- ・お疲れ様でした
- ・細やかな配慮が有難かった
- ・とても良かった

(4)今後、どのようなサポートや研修等があったら良いとお考えですか？

- ・本研修を継続的に実施していただければ有難い

- ・同様な内容でも繰り返し研修してほしい
- ・意向調査や計画作成の模擬演習をその場で行う研修
- ・意向調査の事例（成功・失敗・工夫すべき点等）
- ・意向調査の回答の利用方法の研修
- ・市町村職員への継続的な研修
- ・市町職員向けの森林経営管理制度、事例共有の研修
- ・地域課題の質問が出てくるため、市町村職員を対象とした研修
- ・各市町村を対象とした、県単位でのフォローアップ研修
- ・国県の職員も含めて、各市町村の課題に対して解決方法等を話し合う等研修
- ・今年度の各県の取組結果を受けて、来年度の実践後の課題を出し合い、互いに検討する機会があったら良い
- ・年度ごとの実績がでてきた時点での検討する機会があれば良い
- ・各種様式（アンケート・結果等も含む）が盛り込まれた先進の実例集が欲しい
- ・経営管理集積計画の演習・実地調査
- ・実施権を結んだ後の事務処理についてまだ見えてないため、その点の研修内容が欲しい
- ・岩下氏のQGISの活用術の研修
- ・環境税を使った事業の内容（具体的な仕様書）が知りたい
- ・立木評価に関する研修
- ・法律相談

(5) その他、自由に感想をお書き下さい。（研修の中で特に印象に残った講義があれば教えて下さい。）

- ・全体的に大変有意義な内容の研修だった
- ・国の考え、方針が直接聞くことが有益だった
- ・他県の先進事例がすごい、自習性がありレベルが高い
- ・実際に先進的に取り組んでいる事例が参考になった
- ・上球磨森林組合の講義が一番驚きがあった。林業が成立していた
- ・経営管理集積計画演習は、担当者の声が聞けて問題点が分かった
- ・市町村森林経営管理事業のための森林施業
- ・広葉樹林化に関する講義
- ・玉名協議会の講義
- ・他ブロックの演習や回答集等も参考にいただきたい
- ・他ブロックの事例、情報も可能な範囲で提供いただきたい
- ・少し時間的余裕が欲しい
- ・今回は林野庁の方が現場のことを理解していただいているようなので嬉しかったが、その他、「～してほしい」とった林野庁の思いが語られることがあるが、その部分に本当の問題を抱いていてなかなか現場の本当の声が伝わらない。制度運用に無理があると感じた時は適切な対処をしてほしい

Ⅲ 森林管理円滑化対策研修の評価

(1) 森林管理円滑化対策研修を100点満点で評価するとしたら何点ですか？減点した理由等もお

書き下さい。

70 点

- ・時期的なもの。今後は他県開催が良い。演習はその時作成するのでも良いと思った

80 点

- ・グループ討議も入れた方が良い
- ・私の発表が拙くてすみません。集積計画の演習はもっと長くしても良いと思った
- ・意見交換の場が十分に設けられていたが、曖昧なニュアンスの解答が多い気がした
- ・市町村が現在直面している課題（意向調査用リスト作成、意向調査実施）の部分を今後詳しく研修していただきたい
- ・民間事業者が譲与税含むこの制度にどのように携わりたいか等、もう少し本音が聞きたかった

90 点

- ・現状の課題は意向調査の方法が第一。もっとアンケートの情報が欲しかった。全般的に早口。
- ・集積計画の演習を拡充してほしい
- ・時間の余裕がなかった。意向調査の手法について研修時間をとってほしかった
- ・休み時間をもう少しとってもらいたい
- ・市町村の先導事例をいくつか聞きたかった
- ・現場にも行きたかった
- ・複数回（年）続けてほしい

100 点

- ・各講義でポイントが見えたので、今後の事務作業をする順序が分かった

参考資料1-4

ブロック事務局名簿

*運営スタッフは主な者である。

北海道・東北ブロック事務局

名称	一般社団法人 秋田県森と水の協会	
所在地	〒010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反170-169 森林環境会館3F	
電話番号	018-883-1252	
運営スタッフ	事務局長	高田清晃
	スタッフ	織山博英

関東ブロック事務局

名称	埼玉県森林協会	
所在地	〒357-0212 埼玉県飯野市井上138(有)創林内	
電話番号	042-970-2007	
運営スタッフ	事務局長	井上淳治
	スタッフ	高畑知子

中部ブロック事務局

名称	岐阜県林業改良普及協会	
所在地	〒500-8356 岐阜県岐阜市六条江東2-5-6 ぎふ森林文化センター3F 一般社団法人 岐阜県森林施業協会内	
電話番号	058-215-0681	
運営スタッフ	事務局長	永井由美子

近畿ブロック事務局

名称	一般社団法人 わかやま森林と緑の公社	
所在地	〒641-0024 和歌山県和歌山市和歌浦西2-1-22	
電話番号	073-448-0505	
運営スタッフ	事務局長	間所高史
	スタッフ	谷口卓生 大澤篤弘

中国ブロック事務局

名称	新見市森林組合	
所在地	〒718-0002 岡山県新見市下熊谷407-2	
電話番号	0867-72-2179	
運営スタッフ	事務局長	小山正明
	スタッフ	黒田里美 溝上宏治

四国ブロック事務局

名称	一般社団法人 徳島県林業改良普及協会	
所在地	〒7771-0134 徳島県徳島市川内町平石住吉209-5 徳島健康科学総合センター2F (公社)徳島県森林づくり推進機構内	
電話番号	088-679-8558	
運営スタッフ	事務局長	東口公宏
	スタッフ	中田幸代

九州ブロック事務局

名称	熊本県森林組合連合会	
所在地	〒861-8041 熊本県熊本市東区戸島2-3-35	
電話番号	096-285-8688	
運営スタッフ	事務局長	佐藤善之
	スタッフ	田上博輝 山本希美代